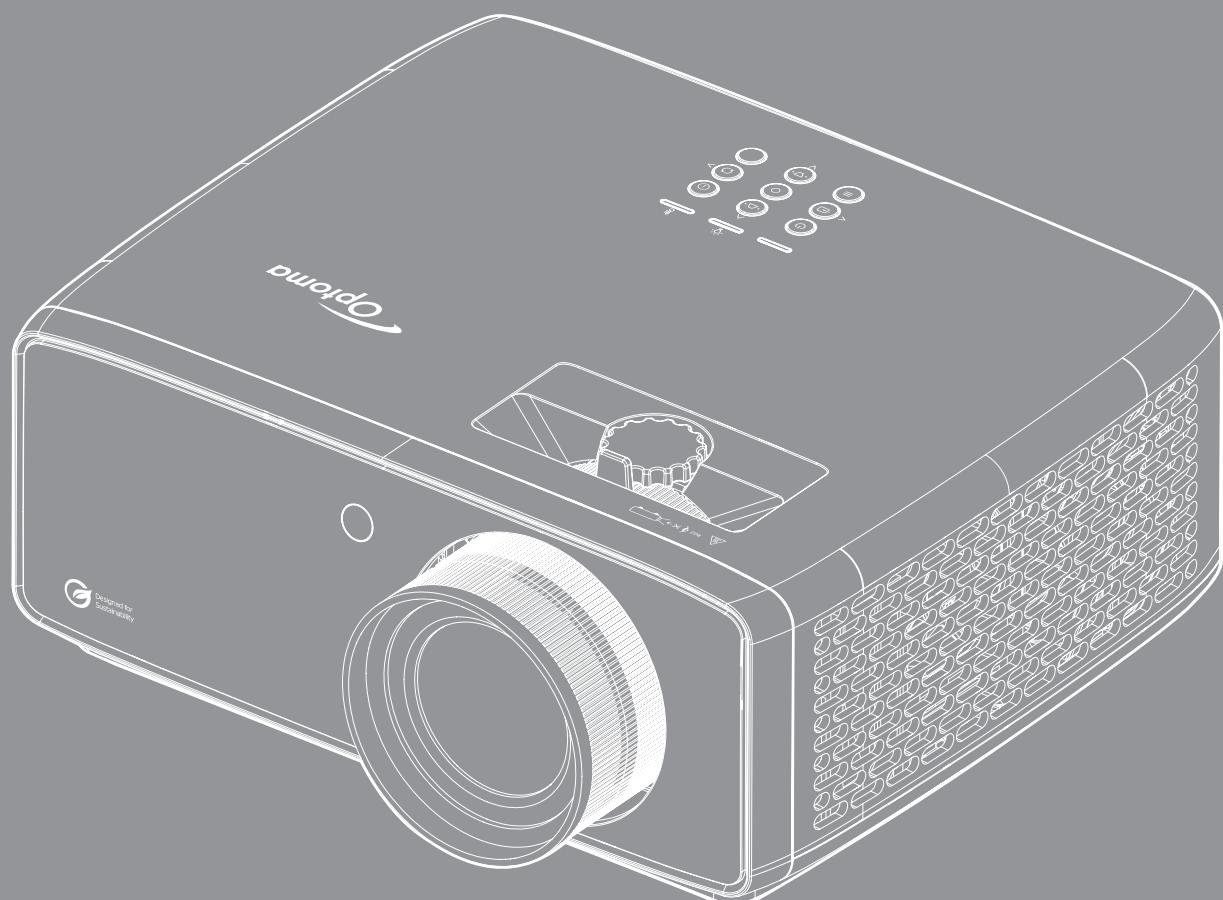




# DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



# 目次

<b>安全</b>	<b>4</b>
安全に関するご注意	4
電池の安全に関する注意事項	6
レンズの清掃	6
レーザー放射安全情報	7
著作権	8
免責条項	8
商標認識	8
FCC	8
EU 諸国への適合宣言	9
WEEE	9
CTUVUS	9
仕様および警告ラベル	10
<b>はじめに</b>	<b>11</b>
パッケージの内容	11
標準アクセサリ	11
製品の各部名称	12
接続	13
キーパッド	14
リモコン	15
<b>設定と設置</b>	<b>16</b>
プロジェクターを設置する	16
ソースをプロジェクターに接続する	18
投影画像の調整	19
リモート設定	20
<b>プロジェクターを使用する</b>	<b>22</b>
プロジェクターの電源を入れる/切る	22
入力ソースを選択する	25
ランチャー画面の概要	26
メニュー・ナビゲーションと機能	27
OSD メニューツリー	28
イメージメニュー	35
ディスプレイメニュー	39
設定メニュー	42
オーディオメニュー	46
コントロールメニュー	47
情報メニュー	60
システム設定	61
入力ソースを手動で選択する	67
アプリの選択	67

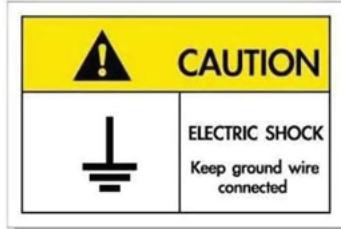
## 追加情報 ..... 70

対応解像度.....	70
画像サイズと投影距離.....	73
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....	74
IR リモートコード.....	75
トラブルシューティング.....	77
警告インジケーター .....	79
仕様 .....	81
Optoma 社グローバルオフィス .....	82

# 安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



- 感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。
- この装置には、3 ピン接地タイプの電源プラグが装備されています。
- 電源プラグの接地ピンを取り外さないでください。
- これは安全機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。
- 接地プラグの目的を無効にしないでください。

## 安全に関するご注意



- あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- このプロジェクターは、IEC 60825-1:2014、EN 60825-1:2014+A11:2021、および IEC 62471-5:2015 の要件を備えたリスク グループ 2 のクラス 1 レーザー製品です。
- お子様の監視: 凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと!
- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - (i) 室温が 0°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    - (ii) 相対湿度は最大 80% です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。

- 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです(ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起す可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたサービススタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 間違ったタイプの電池に交換すると火災や爆発の危険性があります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サーボプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

## 電池の安全に関する注意事項

<b>⚠ WARNING</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>INGESTION HAZARD:</b> This product contains a button cell or coin battery.</li><li>• <b>DEATH or serious injury can occur if ingested.</b></li><li>• A swallowed button cell or coin battery can cause <b>Internal Chemical Burns</b> in as little as <b>2 hours</b>.</li><li>• <b>KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN</b></li><li>• <b>Seek immediate medical attention</b> if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.</li></ul>	

## レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

### 注意!



#### 表面が熱いので触れないでください

- プロジェクターの動作中は、プロジェクターのレンズの前に手、顔、その他の物を置かないでください。そうすると、対象物が極度に熱くなり、光出力から放出される熱によって火災や損傷が発生する可能性があります。レンズの前に置かれたものが過熱して燃えたり、火災の原因となる可能性があります。
- レンズに溜まったほこりや汚れを取り除くために可燃性ガスを噴霧しないでください。火災の原因となる可能性があります。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

## レーザーに関する通知

IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2。

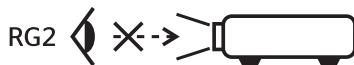
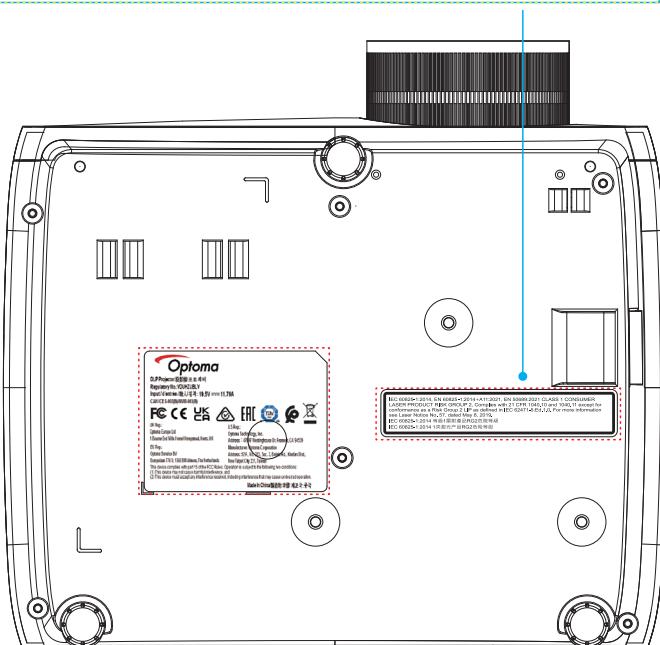
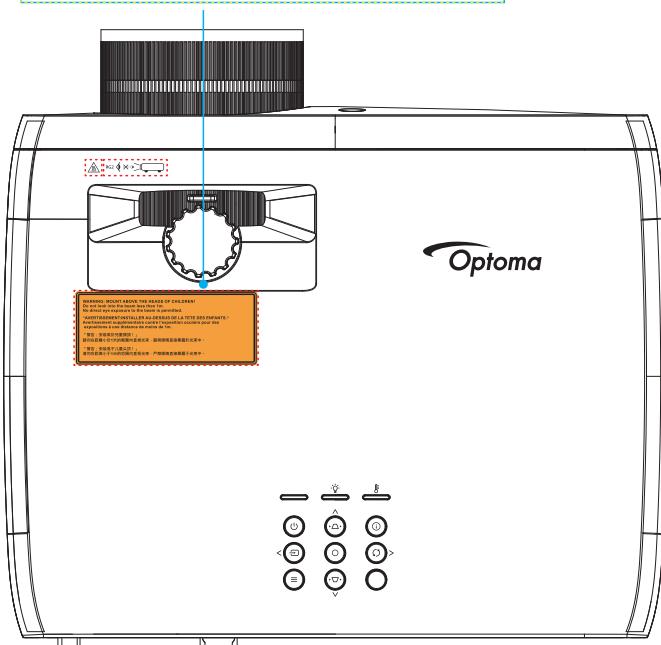
この製品は民生用レーザー製品としての使用を目的としており、EN 50689:2021 に準拠しています。

クラス 1 民生用レーザー製品

EN 50689:2021

## レーザー放射安全情報

- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。
  - IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2



- お子様を監視するための追加の指示、凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと。
  - お子様の手の届かないところに設置するように指示してください。
  - 警告: お子様の目線より上に設置してください。お子様の目線の上に設置する場合、この製品と共に天井マウントを使用することをお勧めします。
  - 注意 – ここで指定されているもの以外の制御や調整を使用したり、手順を実行すると、危険な放射線被ばくが生じる可能性があります。
  - プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見る投影範囲に人がいないことを確認してください。
  - プロジェクターの光路に物（拡大鏡など）を近づけないようにしてください。レンズから投射される光路は広範囲にわたります。したがって、レンズからの光の向きを変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
  - ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
  - レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性があるので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
  - プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。

制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。

## 著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2025

## 免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

## 商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

Dolby、Dolby Vision、ダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。Dolby Laboratories Licensing Corporation からのライセンスに基づいて製造されています。未発表の機密資料。Copyright © 2013–2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.

この製品は、HDR10+ プロジェクター デバイス バージョン 1.1 に準拠しています。HDR10+™ ロゴは、米国およびその他の国における HDR10+ Technologies, LLC の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

## FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

## 注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

## 注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

## 運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

## 注意：カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

## WEEE



### 廃棄物についての指示

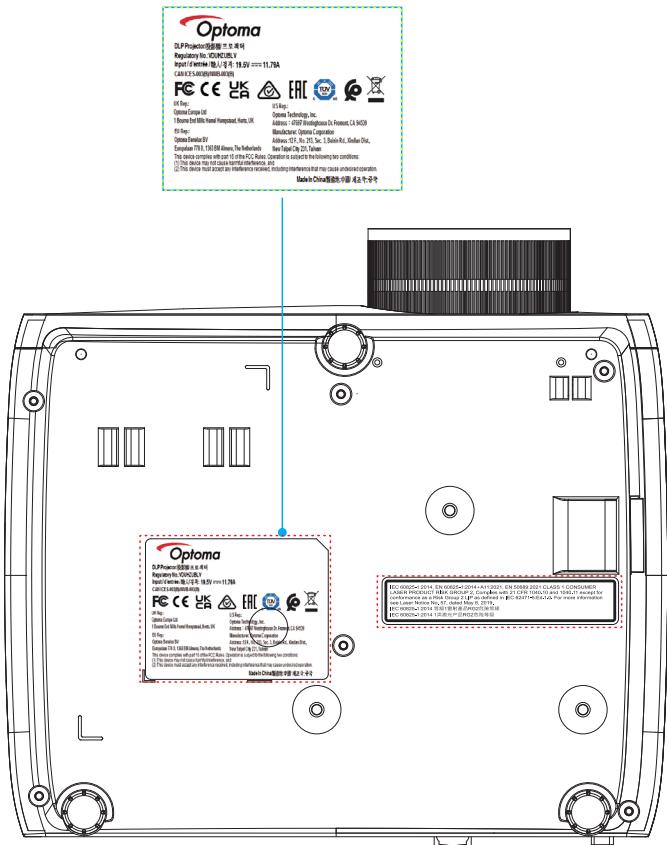
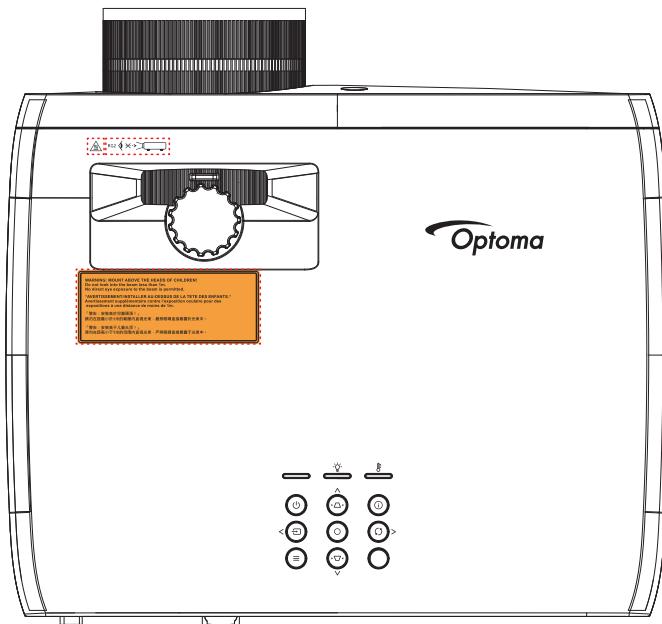
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

## CTUVUS



## 仕様および警告ラベル

仕様および警告ラベルは次の場所に貼付されています:



**注:** 電源、電力定格、製品情報については、製品底面のラベルを参照してください。

# はじめに

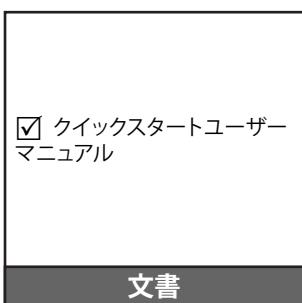
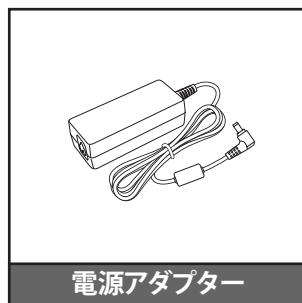
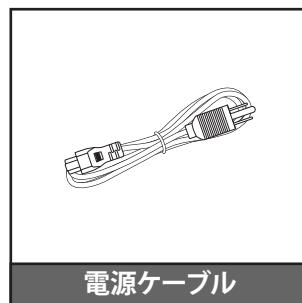
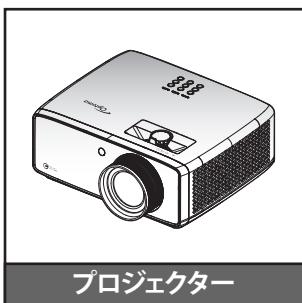
Optoma レーザープロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。機能の完全なリストについては、当社の Web サイトの製品ページにアクセスしてください。ここには、FAQ の追加情報やドキュメントも掲載されています。

## パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下記に記載されている標準付属品がすべて揃っていることを確認してください。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

## 標準アクセサリ



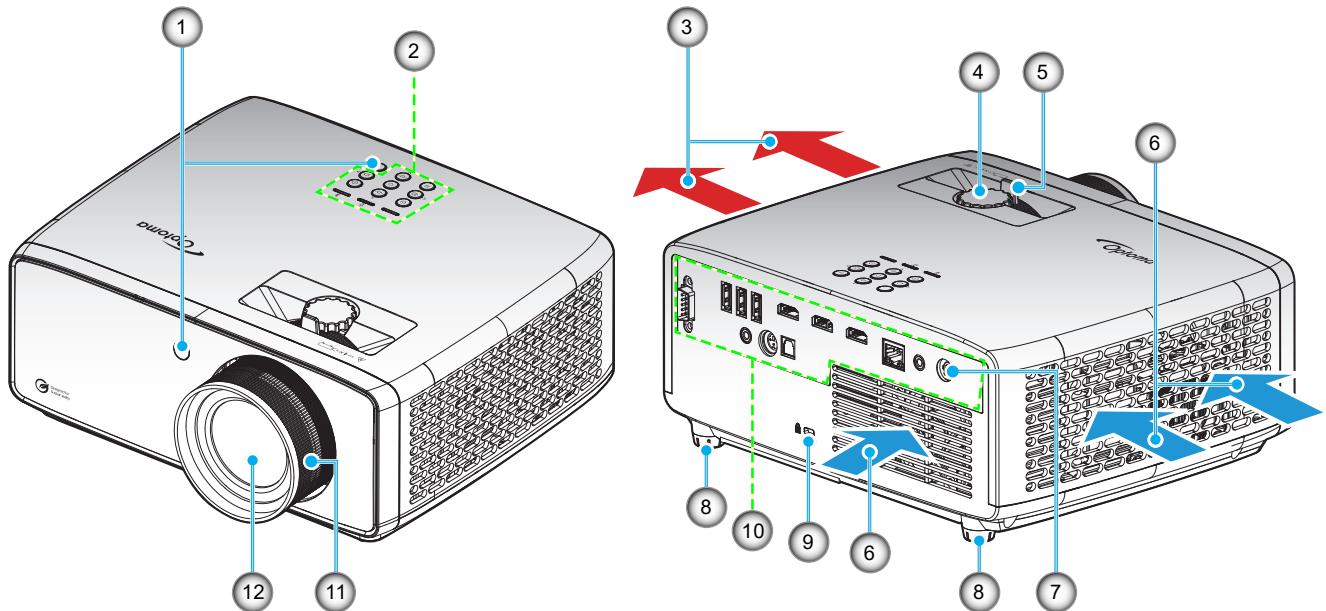
### 注:

- 設定情報、ユーザーマニュアル、保証情報、製品の更新にアクセスするには、QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください。  
<https://www.optoma.com/support/download>
- 付属品は国によって異なる場合があります。
- Wi-Fi ドングルはオプションのアクセサリです。



# はじめに

## 製品の各部名称



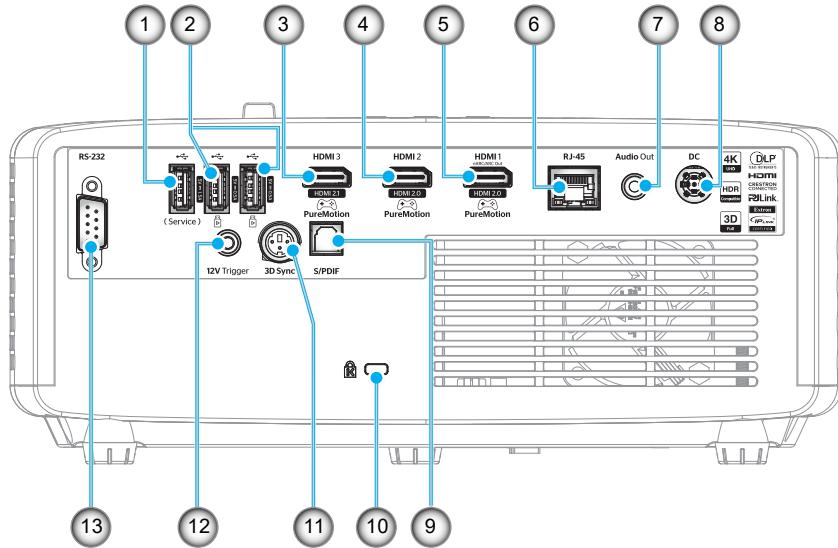
### 注:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。

番号	項目	番号	項目
1.	赤外線レシーバー	7.	DC ジャック
2.	キーパッド	8.	チルト調整フット
3.	換気 (排気口)	9.	Kensington™ ロックポート
4.	レンズシフトダイアル	10.	入/出力
5.	ズームレバー	11.	フォーカス リング
6.	換気 (吸気口)	12.	レンズ

# はじめに

## 接続



番号	項目	番号	項目
1.	サービスおよびUSB端子 (電源5V---1.5A) <sup>*1</sup>	8.	DCジャック
2.	USB端子 (電源5V---0.5A) <sup>*2</sup>	9.	S/PDIF端子
3.	HDMI3(v2.1)コネクタ <sup>*3</sup>	10.	Kensington™ロックポート
4.	HDMI入力2(v2.0)端子	11.	3D同期アウト端子
5.	HDMI入力1(v2.0)端子	12.	12V出力端子
6.	RJ-45端子	13.	RS-232端子
7.	オーディオ出力端子		

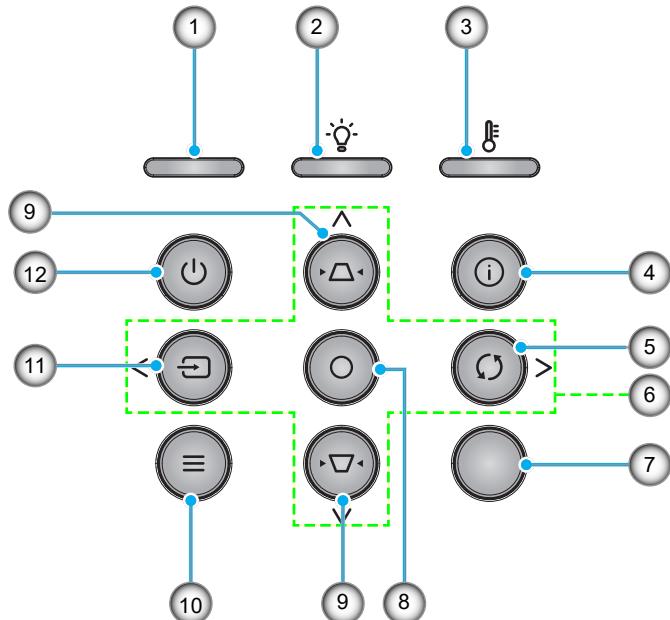
注: (\*1) フームウェアアップグレード用。

(\*2) マルチメディアおよびWi-Fi ドングルをサポートします。

(\*3) 最大3840 x 2160/120Hzをサポートし、HDR10+をサポートします。

# はじめに

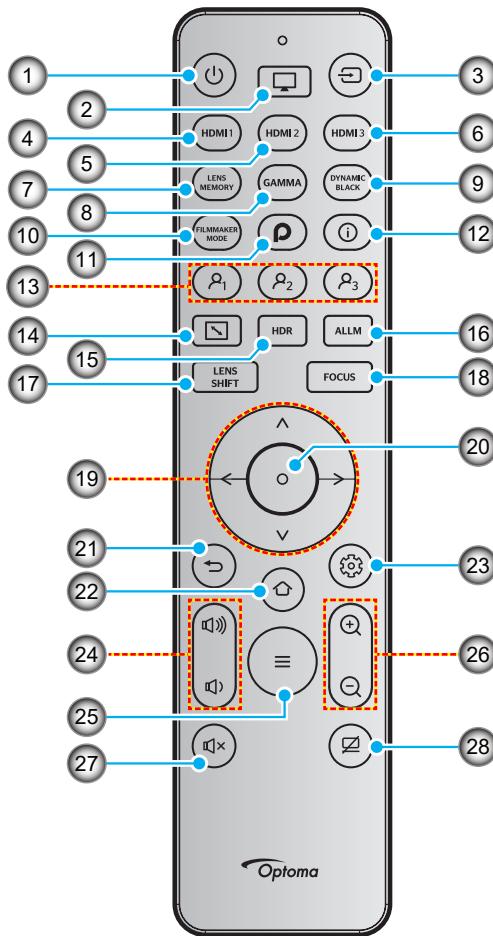
## キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	電源 LED	7.	IR レシーバー
2.	ランプ LED	8.	決定
3.	温度 LED	9.	キーストーン補正
4.	情報	10.	メニュー
5.	再同期	11.	ソース
6.	4 方向選択キー	12.	電源

# はじめに

## リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源	15.	HDR
2.	ピクチャーモード	16.	ALLM
3.	ソース	17.	レンズシフト (Not supported)
4.	HDMI1	18.	フォーカス (Not supported)
5.	HDMI2	19.	4 方向選択キー
6.	HDMI3	20.	決定
7.	レンズメモリ (Not supported)	21.	戻る
8.	ガンマ	22.	ホーム / ランチャー
9.	ダイナミックブラック	23.	Device Setup メニュー
10.	フィルムメーカー モード	24.	音量 +/-
11.	PureEngine Ultra	25.	メニュー
12.	情報	26.	デジタルズーム - / +
13.	ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3 (割り当て可能)	27.	ミュート
14.	アスペクト比	28.	AV 消音

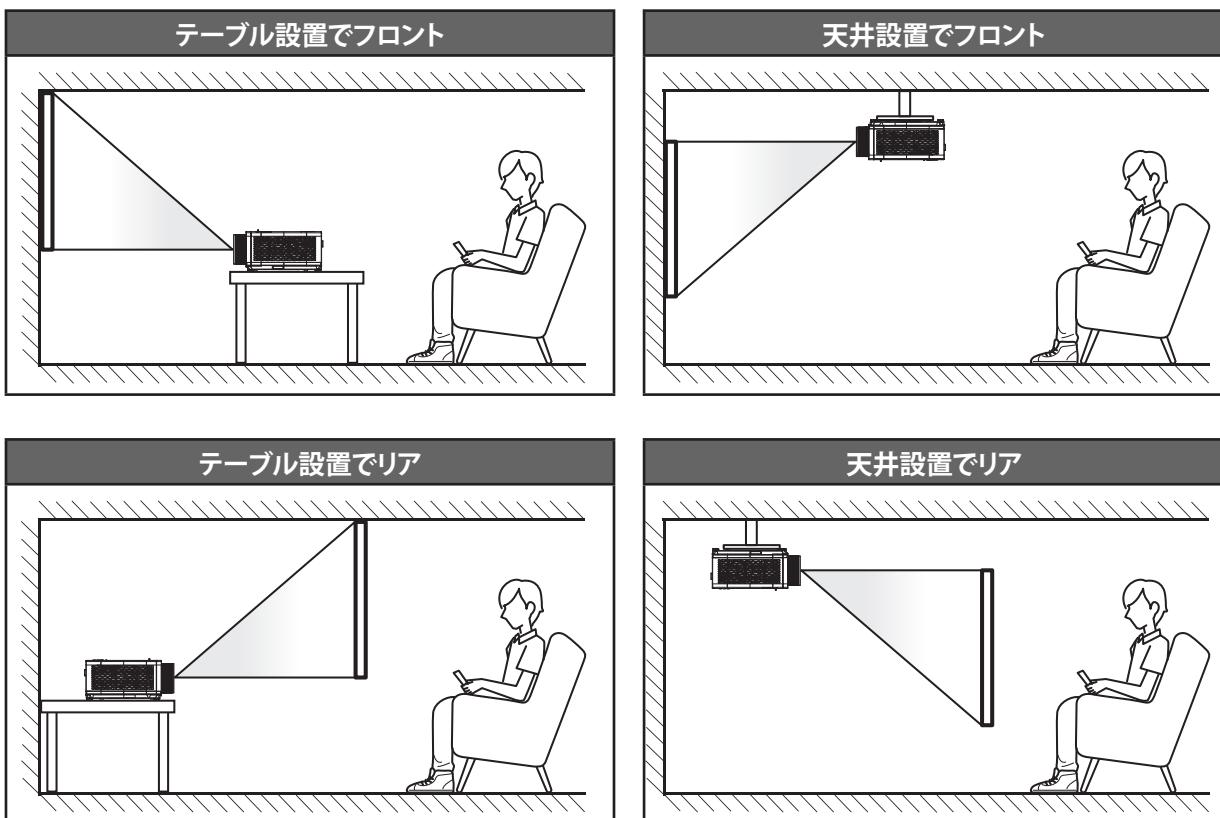
**注:** これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。

# 設定と設置

## プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

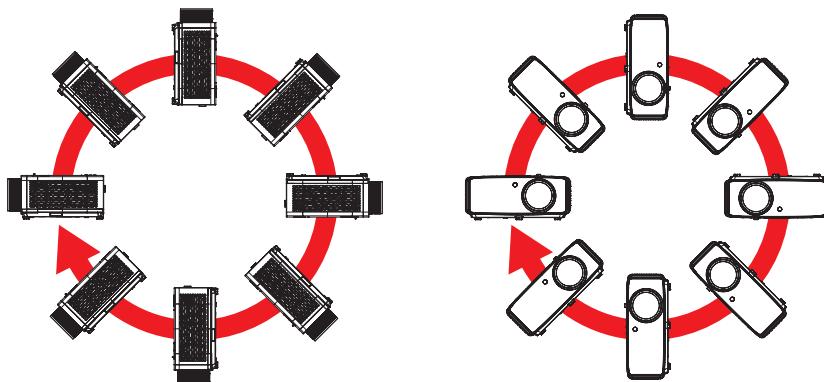
- “ 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、～73 ページの距離表を参照してください。
- “ 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、～73 ページの距離表を参照してください。

**注:** プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投影される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。

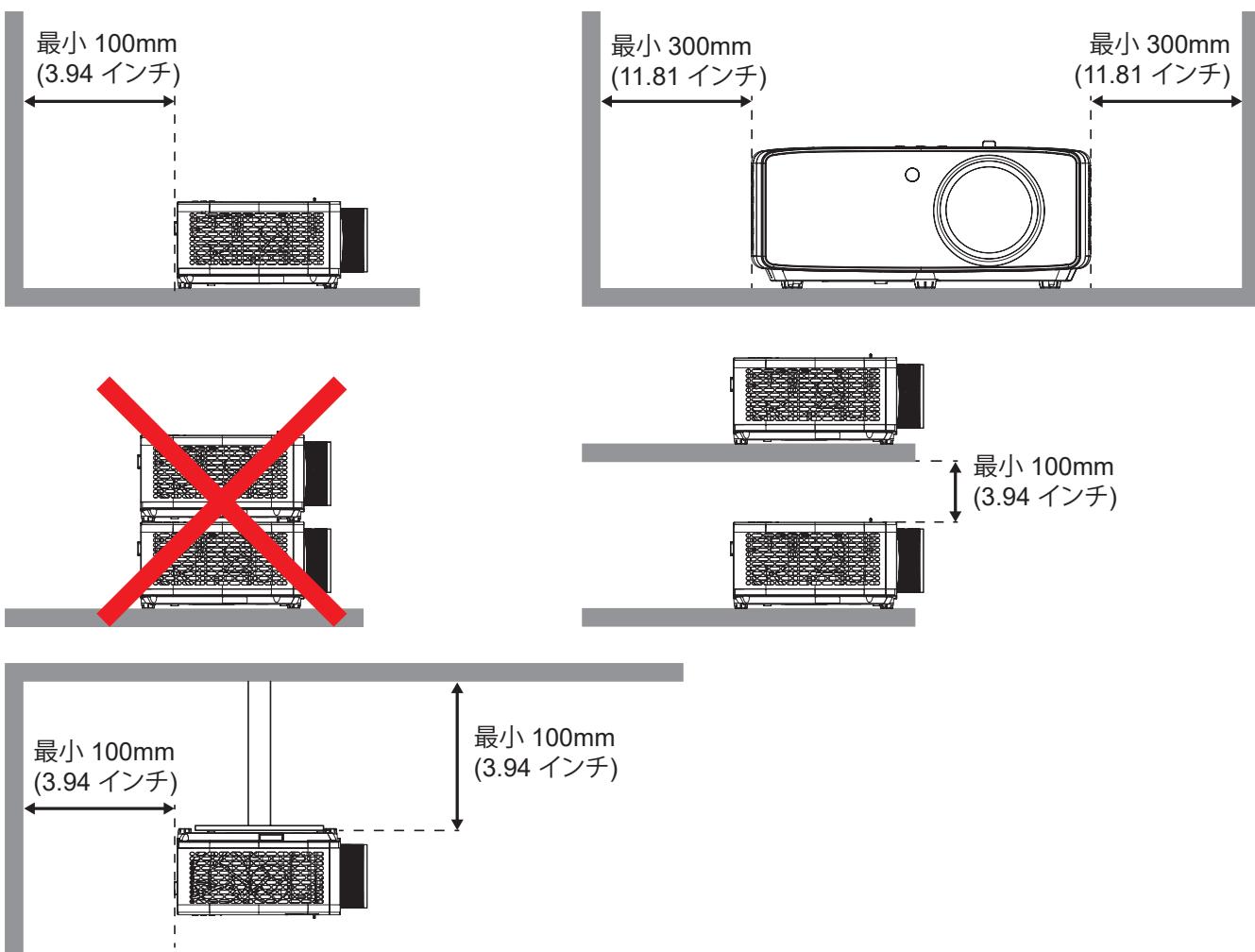
# 設定と設置

## プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360° の自由方向操作



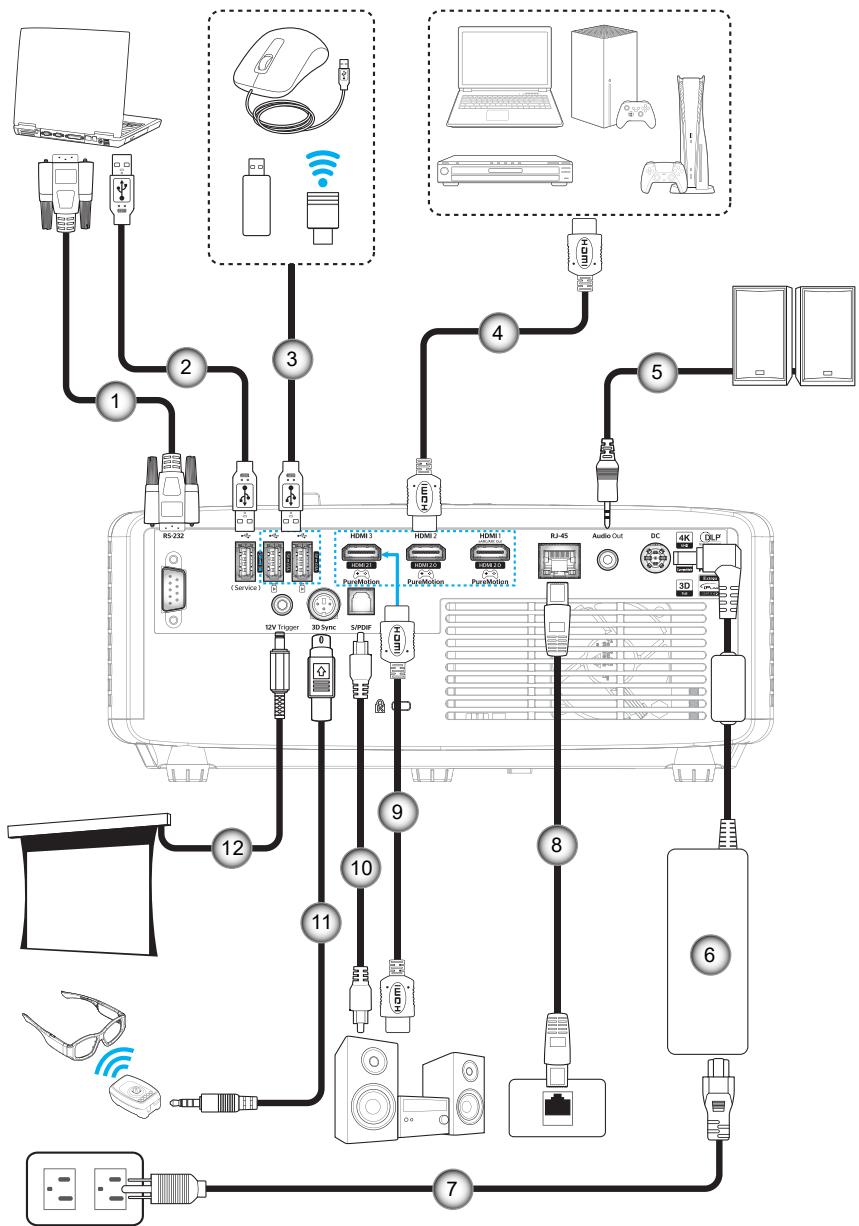
- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、プロジェクターが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるので、プロジェクターが排気を取り込まないよう、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

# 設定と設置

## ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	RS232 ケーブル
2.	USB 電源ケーブル
3.	USB ディスクドライブ / Wi-Fi ドングル
4.	HDMI ケーブル
5.	スピーカーケーブル
6.	電源アダプター

番号	項目
7.	電源ケーブル
8.	RJ-45 ケーブル
9.	HDMI ケーブル
10.	S/PDIF ケーブル
11.	3D エミッターケーブル
12.	12V DC ジャック

**注:** 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。

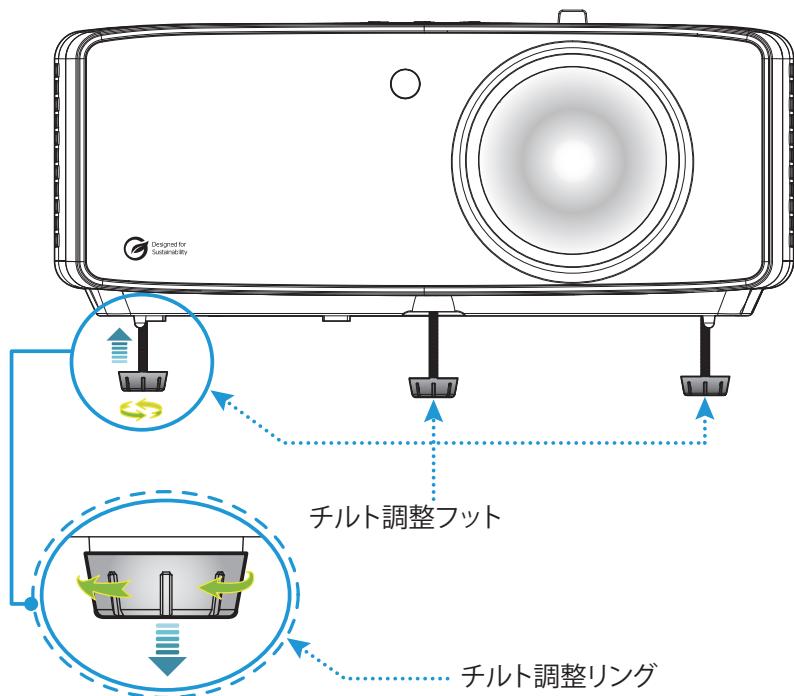
# 設定と設置

## 投影画像の調整

### 画像の高さ

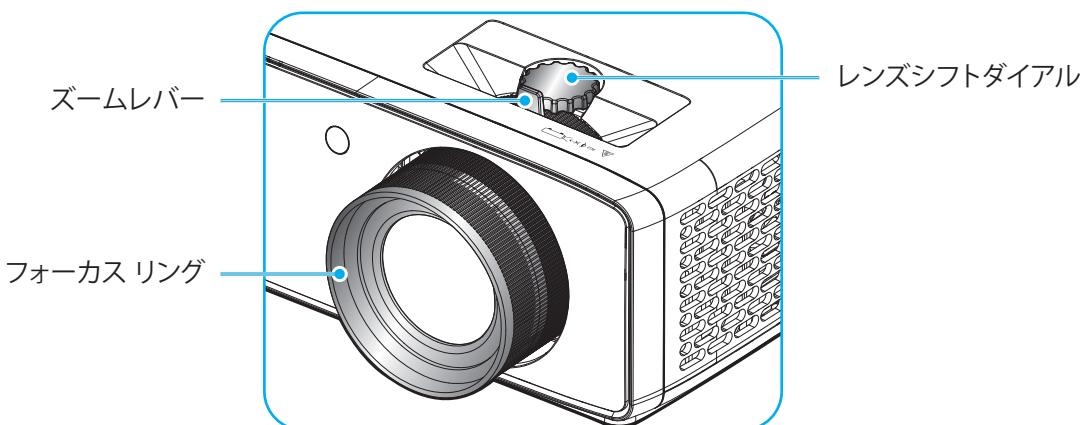
本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



### ズーム、レンズシフト、および、フォーカス

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
- 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイアルを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の位置を水平方向または垂直方向に調整します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



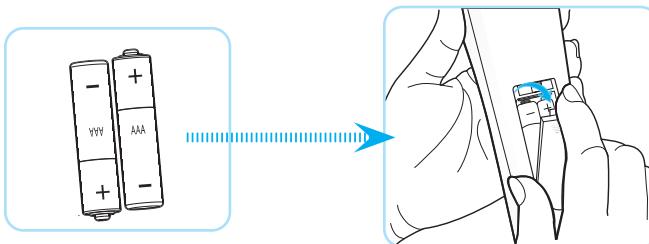
# 設定と設置

## リモート設定

### 電池の取り付け/交換

リモコンには単4電池2本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単4電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



**注:** 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

### 注意事項: 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

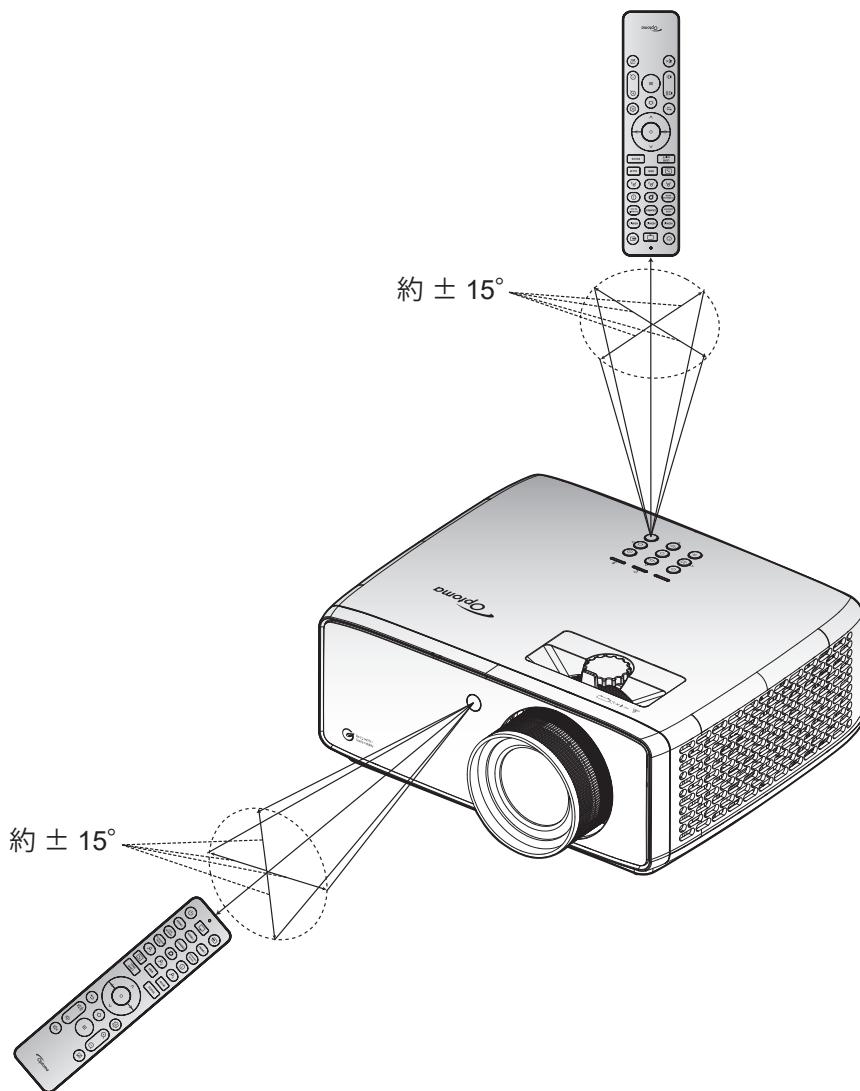
- ・ 間違ったタイプのバッテリーに交換すると、安全装置が無効になる可能性があります(単4サイズのバッテリータイプに交換します)。
- ・ バッテリーを火や高温のオーブンに廃棄したり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発が起こる可能性があります。
- ・ バッテリーを周囲温度が非常に高い環境に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
- ・ バッテリーを極めて低い気圧に曝すと、爆発または可燃性の液体または気体の漏れを引き起こす可能性があります。
- ・ 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- ・ 使い切った電池はすぐに外してください。バッテリーから漏れた化学物質が皮膚に接触すると、かぶれを引き起こす可能性があります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- ・ 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- ・ リモコンを長期間使用しない場合は、化学物質の漏れの危険を減らすために電池を取り外してください。

# 設定と設置

## 有効範囲

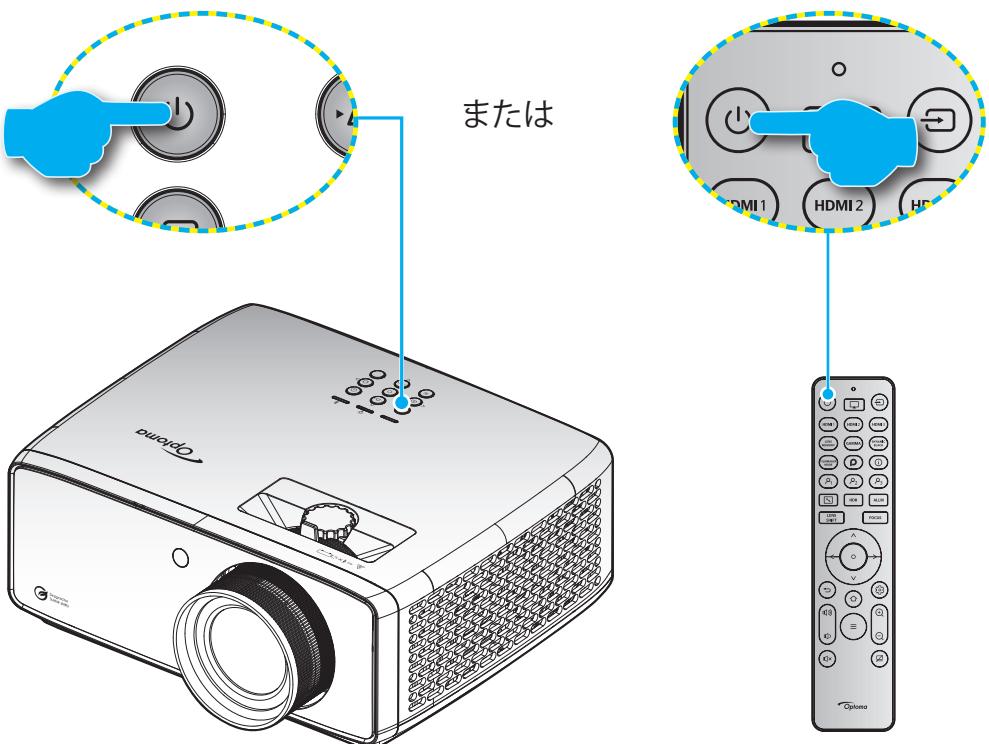
赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。リモコンが正しく機能するように、プロジェクターの IR リモコン センサーに対して 30 度の角度でリモコンが保持されていることを確認してください。リモコンとセンサーの間の距離は 6 メートル (19.7 フィート) 以内にする必要があります。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が非常に近い場合、リモコンが動作しないことがあります。



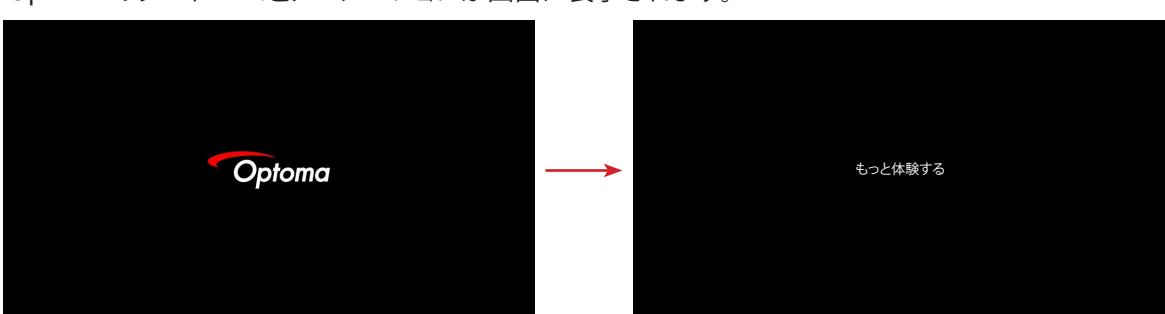
# プロジェクターを使用する

## プロジェクターの電源を入れる/切る



## パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 LED が青色に点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [□] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。電源 LED が青色に点滅します。

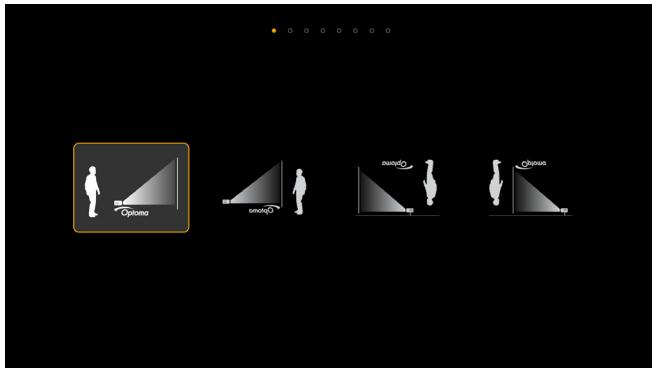


3. 約 10 秒以内にランチャー画面が表示され、電源 LED が青色に点灯します。



# プロジェクターを使用する

初めてプロジェクターの電源を入れると、投射方向、使用言語、ネットワーク設定を含む初期設定を行うように求められます。設定完了!画面が表示されたら、これはプロジェクターが使用できる状態であることを示します。



[投影画面]



[言語画面]



[フォーカス調整画面]



[Wi-Fi ドングル設置画面]



[Wi-Fi ドングル設置画面 (続き)]



[ネットワーク画面]



[日時画面]



当社のポリシー

開始する前に、当社のリーガルポリシーをお読みください。

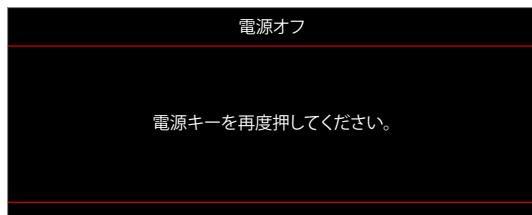
当社の利用規約、プライバシーポリシー、および Cookie ポリシーをお読みいただき、当社の取り組みについてご確認ください。

[規制画面]

# プロジェクターを使用する

## 電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [□] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切れます。
2. 次のメッセージが表示されます。



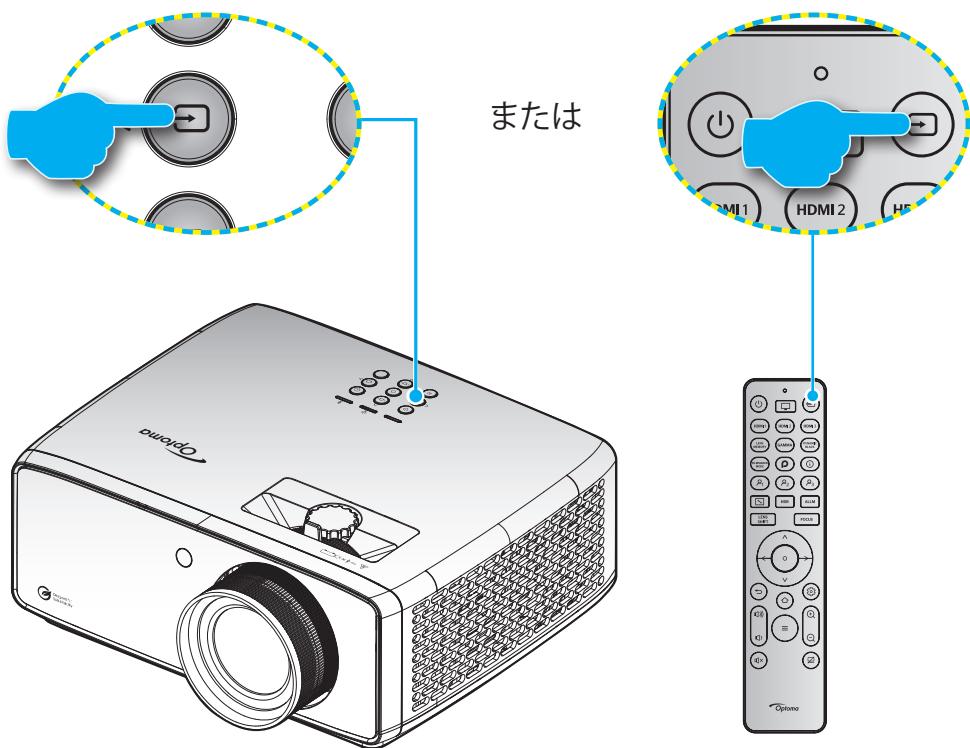
3. 「□」ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。
- 2 回目に「□」ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[□] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

**注:** 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

# プロジェクターを使用する

## 入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース（コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [□] ボタンを押し、入力を選択します。



# プロジェクターを使用する

## ランチャー画面の概要

ランチャー画面は、プロジェクターを起動するためのホームページです。システムステータス、さまざまなアプリにアクセスするためのショートカットなどが含まれています。

ランチャー画面を移動するには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「△」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



**注:** 例えば、上図の「設定」のように、選択されたメニューまたは項目が黄色にハイライト表示されます。

# プロジェクターを使用する

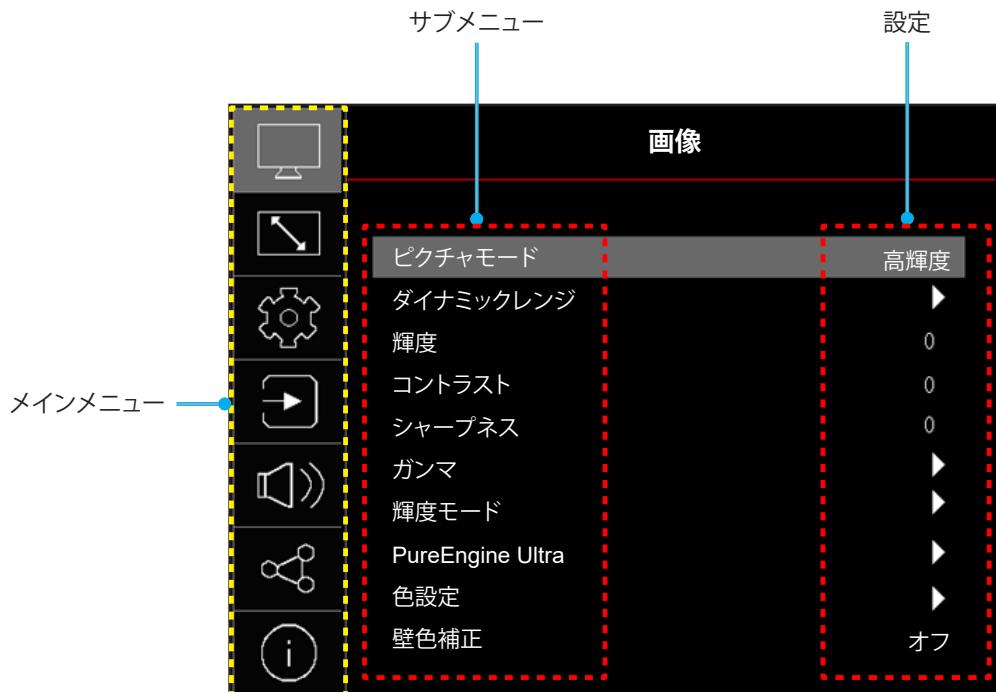
## メニュー ナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

### 一般的なメニューのナビゲーション

操作	リモコンのボタン	プロジェクターキーパッドの使用
OSD メニューを開く	≡ ボタンを押す	≡ ボタンを押す
項目を選択する	△/▽ ボタンを押す	△/▽ ボタンを押す
サブメニューに入る	○ ボタンを押す	○ ボタンを押す
設定を調整する	△/▽/＜/＞ ボタンを押す	△/▽/＜/＞ ボタンを押す
選択を確認する	○ ボタンを押す	○ ボタンを押す
前の項目に移動する	← ボタンを押す	≡ ボタンを押す
OSD メニューを閉じる	≡ ボタンを押す	≡ ボタンを押す

**注:** ホーム画面で OSD メニュー (≡) を選択して OSD メニューを開くこともできます。



# プロジェクターを使用する

## OSD メニューツリー

**注:** OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルおよび地域によって異なります。Optoma は、製品の性能を向上させるため、事前通知なしに追加または削除する権利を有します。

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	ピクチャーモード				鮮明
					HDR
					HLG
					映画
					ゲーム
					リファレンス
					WCG
					高輝度
					HDR10+
					ゴルフ
					AI-PQ
					3D
					フィルムメーカー モード
					ISF Day
					ISF Night
					ISF Day HDR
					ISF Night HDR
					ISF 3D
	ダイナミックレンジ		HDR/HLG		自動/オフ
			HDR 輝度		1~5
	輝度				-50 ~ 50
	コントラスト				-50 ~ 50
	シャープネス				1 ~ 15
	ガンマ				フィルム
					グラフィック
					1.8
					2.0
					2.2
					2.4
					BT.1886
	輝度モード				ダイナミックブラック1
					ダイナミックブラック2
					ダイナミックブラック3
					Power = 100% / 95% / 90% / 85% / 80% / 75% / 70% / 65% / 60% / 55% / 50%
	PureEngine Ultra		ピュアコントラスト		オフ / 1 / 2 / 3
			PureLight		オフ / 1 / 2 / 3
			ピュアカラー		オフ / 1 / 2 / 3
			ピュアモーション		オフ / 1 / 2 / 3
			PureDetail		オフ / 1 / 2 / 3
	色設定	色の濃さ			-50 ~ 50
		色あい			-50 ~ 50
		BrilliantColor™			1 ~ 10

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	色設定	色温度			低
					標準
					高
					冷色
		11 Points RGB Balance			-50 ~ 50
		色域			ネイティブ
					DCI-P3
					Rec.709
		CMS	色の濃さ		白 / 赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄
			色相		-50 ~ 50
			彩度		-50 ~ 50
			Luminance		-50 ~ 50
			リセット		なし
					はい
		RGB ゲイン/バイアス	赤ゲイン		-50 ~ 50
			緑ゲイン		-50 ~ 50
			青ゲイン		-50 ~ 50
			赤バイアス		-50 ~ 50
			緑バイアス		-50 ~ 50
			青バイアス		-50 ~ 50
			リセット		なし
					はい
		カラースペース			自動 / RGB (0-255) / RGB (16-235)
	壁色補正				オフ
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					Gray
3D	3D モード				オフ
					オン
	3D同期タイプ				DLP-Link
					3D 同期
	3D 映像フォーマット				自動
					サイドバイサイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
					フレームパッキング
	3D 同期反転				オフ
					オン
	リセット				なし
					はい
	リセット				

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	低レイテンシーモード				オン
					ALLM
					オフ
	アスペクト比				4:3
					16:9
					V-Stretch
					完全 [ビデオ]
					21:9
					32:9
					ネイティブ
					自動
	ジオメトリ補正	自動キーストン			オフ / オン
		垂直キーストーン			-30 ~ 30
		水平キーストン			-30 ~ 30
		4 コーナー調整			
		ワーピング			オフ
					オン
		ワープ制御			「上」「下」「左」「右」を押してポイントに焦点を合わせ、「OK」を押して、ポイントを選択します。 次に、「上」「下」「左」「右」を押して、選択したポイントの位置を移動します。[デフォルト:左上]。
		グリッドカラー			緑
					マゼンタ
					赤
					シアン
		リセット			
	エッジマスク				0 ~ 10
	デジタルズーム	ズーム			-5 ~ 20
	画像シフト	水平 			-100 ~ 100
		垂直 			-100 ~ 100
	リセット				
設定	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白グリッド
					白
					オフ
	投影方向				フロント
					リア
					天吊り - トップ
					背面 - 上部
	言語				English
					عَرَبِي
					Čeština
					Dansk
					Nederlands

# プロジェクトを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	言語				فارسی
					Suomi
					Français
					Deutsch
					ελληνικά
					Magyar
					Bahasa Indonesia
					Italiano
					日本語
					한국어
					Norsk
					Polski
					Português
					Română
					Русский
					简体中文
					Español
					Svenska
					ไทย
					繁體中文
					Türkçe
					Tiếng Việt
メニュー設定	メニュー位置				左上 <input checked="" type="checkbox"/>
					右上 <input checked="" type="checkbox"/>
					中央 <input checked="" type="checkbox"/>
					左下 <input checked="" type="checkbox"/>
					右下 <input checked="" type="checkbox"/>
	メニュータイマー				オフ
					5 秒
					10 秒
					20 秒
					30 秒
高地モード	情報を表示しない				オフ
					オン
	ダイレクト電源オン				オフ
					オン
電源設定	信号電源オン				オフ
					オン
	自動電源オフ (分)				0、2 ~ 180 (1 分の増分)
					0 ~ 990 (30 分の増分)
	スリープタイマー (分)				

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	電源設定	電源モード (スタンバイ)			エコ
					通信
					Communication (20 mins)
		12V トリガー			オフ
					オン
	セキュリティ	セキュリティ			オフ
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
	本体キー設定	パスワードの変更			
		キーパッドロック			オフ
	背景色				オン
					使用しない
					青
					赤
					緑
					Gray
操作	リモコン設定	ユーザー1			(空)/輝度/ コントラスト/ シャープネス/ 色の濃さ/ 色温度/ 11 Points RGB Balance/ 色域/ CMS/ RGB ゲイン//バイアス/ ジオメトリ補正/ テストパターン/ 投影方向/ LAN/ コントロール/ スリーブタイマー/ 垂直キーストーン/ 水平キーストン/ 4コーナー
					(空)/輝度/ コントラスト/ シャープネス/ 色の濃さ/ 色温度/ 11 Points RGB Balance/ 色域/ CMS/ RGB ゲイン//バイアス/ ジオメトリ補正/ テストパターン/ 投影方向/ LAN/ コントロール/ スリーブタイマー/ 垂直キーストーン/ 水平キーストン/ 4コーナー
					(空)/輝度/ コントラスト/ シャープネス/ 色の濃さ/ 色温度/ 11 Points RGB Balance/ 色域/ CMS/ RGB ゲイン//バイアス/ ジオメトリ補正/ テストパターン/ 投影方向/ LAN/ コントロール/ スリーブタイマー/ 垂直キーストーン/ 水平キーストン/ 4コーナー
	デバイスリセット	OSDをリセット			なし
					はい
		すべての設定をリセット			なし
					はい

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
入力	自動ソース				オフ
					オン
	入力源の名前を変更	HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / ホーム			デフォルト
					カスタム
	Input Hide	HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / ホーム			なし
					はい
	HDMI CEC設定	HDMI Link			オフ
					オン
		電源オンリンク			双方向設定
					PJ --> デバイス
		電源オフリンク			デバイス --> PJ
					双方向設定
					PJ --> デバイス
					デバイス --> PJ
	リセット				なし
					はい
オーディオ	音量				0 ~ 10
	ミュート				オフ
					オン
	オーディオモード				自動
					標準
					映画
					ゲーム
	オーディオ出力				自動
					内蔵スピーカー
					ライン出力 (3.5mm)
	Audio Output Settings				Analog
					SPDIF
					eARC
	リセット				なし
					はい
コントロール	デバイスID				0 ~ 99
	LAN	ネットワーク情報			接続済み / 切断)
		MACアドレス			
		DHCP			オフ/オン
		IP アドレス			192.168.0.100
		サブネットマスク			255.255.255.0
		ゲートウェイ			192.168.0.254
		DNS 1			192.168.0.51
		DNS 2			0.0.0.0
	リセット				

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
コントロール	コントロール	クレストロン			オフ
					オン
		Extron			オフ
					オン
		PJ リンク			オフ
					オン
		AMX デバイス検出			オフ
					オン
		Telnet			オフ
					オン
		HTTPS			オフ
					オン
	リセット	コントロール 4			オフ
					オン
情報	制御				
	シリアル番号				
	ソース情報				ソース
					解像度 (00x00)
					リフレッシュレート (0.00 Hz)
	ピクチャモード				
	カラー情報				カラービット深度
					色域
					カラースペース
	電源モード (スタンバイ)				通信/エコ
	Light Source Hours				
	輝度モード				
	デバイスID				00 ~ 99
	IP アドレス				
	ネットワーク情報				
	MACアドレス				
	Bluetooth リモート Status				
	FW/バージョン	DDP			
		MCU			
		スカラー			

# プロジェクターを使用する

## イメージメニュー

画像設定を構成する方法について説明します。

### サブメニュー

- ピクチャーモード
- ダイナミックレンジ
- 輝度
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- 輝度モード
- PureEngine Ultra
- 色設定
- 壁色補正
- 3D

### ピクチャーモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- 鮮明:** このモードを選択すると、色の彩度と明るさのバランスが取れ、表示が明るくなります。環境光があるセットアップ、またはより明るい画像/プレゼンテーションが必要な場合は、このモードを選択してください。
  - HDR / HLG:** ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、DCI-P3 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効なとき、他のディスプレイモード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLG は、他のディスプレイモードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
  - 映画:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
  - ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクタを最適化します。
  - リファレンス:** このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
  - WCG (広い色域):** より広い範囲の色を提供します。WCG は非 HDR 表示モードであり、SDR コンテンツでのみ使用できます。WCG とリファレンスピクチャーモードは、最も色精度の高い非 HDR ピクチャーモード (SDR) を表します。
  - 高輝度:** このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
  - HDR10+:** フレームごとに動的メタデータをデコードして HDR10+ コンテンツをデコードおよび表示し、HDR10+ コンテンツの明るい部分と暗い部分の詳細を強調して、HDR10 よりも優れた HDR の視覚体験を実現します。
- 注:** ソースコンテンツ (ストリーミングビデオ、4K HDR Blu-ray、4K ゲーム) とソースプレーヤー (Fire TV 4K Stick/Cube、Shield TV 4K、Xbox Series X、4K HDR Blu-ray プレーヤー) は HDR10+ をサポートしている必要があります。PS5 は HDR10+ をサポートしていません。
- ゴルフ:** ゴルフモードは、コントラストとコントラストを強化し、明るい青空、濃い影、そしてリアルなグリーンを備えた、実際のゴルフコースのような映像環境を再現します。
  - AI-PQ (AI画質):** 統合 AI 処理ユニットを使用したリアルタイムの顔とシーン認識により、最高の視覚体験が実現します。AI-PQ はすべての画面の画質を同時に最適化します。

# プロジェクターを使用する

- **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。  
**注:** 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。
- **フィルムメーカー モード:** このピクチャーモードでは、フィルムメーカー規格の設定が適用されます。具体的には、ポストプロセッシング機能を使用せず (PureMotion なし、シャープネス = オフ)、ソースコンテンツのフレームレートとアスペクト比を維持し、さらに規定の D65 色温度値が適用されます。  
\* フィルムメーカー モードは、映画やテレビ番組を制作者の意図どおりに再現するために設計されており、不必要的ポストプロセッシング機能を無効にすることで、オリジナルのシネマ体験を保持します。詳細については、UHD アライアンスのウェブサイトをご覧ください。
- **ISF Day:** ISF Day モードは、日中の視聴において高品質に校正された画像を提供するよう最適化されています。
- **ISF Night:** ISF Night モードは、夜間の視聴において高品質に校正された画像を提供するよう最適化されています。
- **ISF Day HDR:** ISF Day HDR モードは、日中の視聴において高品質に校正された HDR 画像を提供するよう最適化されています。
- **ISF Night HDR:** ISF Night HDR モードは、夜間の視聴において高品質に校正された HDR 画像を提供するよう最適化されています。
- **ISF 3D:** ISF 3D モードは、高品質に校正された 3D 画像を提供するよう最適化されています。

**注:** HDR、HDR10+、Dolby Vision、eARC を利用する場合は、4K120/8K30 HDMI 2.1 ケーブルを使用してください (これらは高品質で、信号減衰が少ないかまったくありません)。

## ダイナミックレンジ

### HDR/HLG

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

- **自動:** HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision 信号を自動検出します。
- **オフ:** HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision Processing をオフにします。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision コンテンツをデコードしません。

### HDR 輝度

HDR 強度を調整します。

### 輝度

画像の輝度を調整します。

### コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

### シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

### ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.4 / BT.1886:** 特定の PC/写真ソース用。

# プロジェクトを使用する

## 輝度モード

ライトネスモードの設定を調整します。

- **ダイナミックブラック1/ ダイナミックブラック2/ ダイナミックブラック3:** 最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。
- **Power:** ライトネスモードの消費電力パーセンテージを選択します。

## PureEngine Ultra

PureEngine パラメーターを調整します。

- **ピュアコントラスト:** 暗い/明るい映画のシーンで細部まではっきり表示できるように、ディスプレーの輝度を自動的に最適化するために使用します。
- **PureLight:** SDR/HDR の明るい領域をさらに明るくするために使用します。明るい領域のさまざまなレベルについては、オフ、1、2、3 から選択します。
- **ピュアカラー:** 画像の鮮明さを大幅に増やすために使用します。
- **ピュアモーション:** 表示される画像の自然な動きを保持するために使用します。
- **PureDetail:** 画像のシャープネスを大幅に増やすために使用します。

## 色設定

### 色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

### 色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

### BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。

### 色温度

低、標準、高、または冷色から色温度を選択します。

### 11 Points RGB Balance

赤、緑、青の色バランスを調整します。

### 色域

色域をネイティブ、DCI-P3、Rec.709 から調整します。

### CMS

次のオプションを選択します:

- **色の濃さ:** 画像の赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白レベルを調整します。
- **色相:** 赤と緑のカラーバランスを調整します。
- **彩度:** ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- **Luminance:** 選択したカラーの輝度を調整します。
- **リセット:** Colour Adjustment を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

### RGB ゲイン/バイアス

この設定で画像の輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)を構成できます。

- **赤/緑/青ゲイン:** 画像の明るい領域の色を調整します。
- **赤/緑/青バイアス:** 画像の暗い領域の色を調整します。
- **リセット:** グレースケール(ホワイトバランス)調整を工場出荷時の設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## カラースペース

以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0-255)、またはRGB (16-235)。

## 壁色補正

スクリーンのない壁に投影するときに、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、Gray から選択します。

**注:** 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

## 3D

**注:**

- このプロジェクターは、DLP-Link 3D ソリューションを備えた完全な 3D プロジェクターです。
- ビデオを楽しむ前に、DLP リンク 3D コンテンツに 3D メガネが使用されていることを確認してください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2/HDMI3 ポートを介して、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D をサポートしています。
- 最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。

## 3D モード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- オフ:** [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- オン:** [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

## 3D同期タイプ

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- DLP-Link:** 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- 3D 同期:** IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

## 3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- 自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- サイドバイサイド:** 3D 信号を [サイドバイサイド] フォーマットで表示します。
- トップアンドボトム:** 3D 信号を [トップアンドボトム] フォーマットで表示します。
- フレームシーケンシャル:** 3D 信号を [フレームシーケンシャル] フォーマットで表示します。
- フレームパッキング:** 3D 信号を [フレームパッキング] フォーマットで表示します。

## 3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

## リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- なし:** リセットをキャンセルするために選択します。
- はい:** 3D 設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

## リセット

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## ディスプレイメニュー

設置状況に応じて映像を適切に投影するための設定方法を説明します。

### サブメニュー

- 低レイテンシーモード
- アスペクト比
- ジオメトリ補正
- エッジマスク
- デジタルズーム
- 画像シフト

### 低レイテンシーモード

この機能を有効にすると、PC、Xbox Series X|S、PS4、PS5、Switch、Steam Deck、Asus Ally X などでゲームをするときに応答時間（入力遅延）が短縮されます。すべてのジオメトリ設定（例：キーストーン、ワーピング）は、低遅延モードが有効な場合は無効になります。ジオメトリ設定には処理が必要であり、処理によって「インパクトラグ」が発生します。

ソースタイミング	入力遅延
1080p60	約 20 ミリ秒
1080p120	約 12.5 ミリ秒
1080p240	約 8.5 ミリ秒
4K60	約 20 ミリ秒

ALLM を使用すると、サポートされているゲームコンソール（Xbox Series X|S、PS5、PC（サポートされている GPU（グラフィックスプロセッsingユニット）を搭載））がプロジェクターに信号を送信できるようになり、プロジェクターはゲーム用の低遅延、低ラグモードを自動的に有効にします。ALLM を使用するには、OSD のメインメニューの [ディスプレー] の下にある [ALLM 設定] を [ALLM] に設定します。ALLM が有効になっている場合、低遅延をオン/オフにする必要はありません。

### アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します：

- 4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:9**: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- V-Stretch**: このモードでは、2.35:1/2.4:1 画像が垂直方向に引き伸ばされ、黒いバーが削除されます。
- 完全 [ビデオ]**: この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、16:9 および 2.35:1 アスペクト比の映画を表示します。
- 21:9**: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 21:9 入力用です。
- 32:9**: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 32:9 入力用です。
- ネイティブ**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- 自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

### 注:

- 垂直ストレッチ モードに関する詳細情報：
  - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチモードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます
  - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチモードによりアナモルフィックワイド

# プロジェクターを使用する

をサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます

- ・ 全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います:
  - 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。
  - 「全画面」形式を選択します。
  - プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。

4K UHD DMD スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
21x9	3840 x 1644 に調整します。				
32x9	3840 x 1080 に調整します。				
V-Stretch	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します				
全画面表示	5068 x 2852 (132% 拡大) に拡大し、中央の 3840 x 2160 画像を取得します				
自動	ソースが 4:3 の場合、2880 x 2160 に自動的にサイズ変更されます				

4K UHD DMD 自動マッピングルール:

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

# プロジェクターを使用する

## ジオメトリ補正

### 自動キーストン

投射している領域に投射画像を合わせるためにキーストンをデジタルで補正します。

**注:**

- 水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。
- 自動キーストーンを使用すると、4 コーナー調整機能が無効になります。

### 垂直キーストーン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストーンは、上下が片側に傾いているキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

### 水平キーストーン

画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストーンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

### 4 コーナー調整

この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

### ワーピング

ワーピング調整を有効または無効にします。

### ワープ制御

**▲/▼/◀/▶** キーを押してポイントに焦点を合わせ、**Enter** キーを押してポイントを選択します。次に **▲/▼/◀/▶** を押して、選択したポイントの位置を移動します。

### グリッドカラー

ワープパターンのグリッドの色を 緑、マゼンタ、赤、シアン の間で選択します。

### リセット

幾何学補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

### エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

### デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

**注:** ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

### 画像シフト

投影される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

### リセット

ディスプレイ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## 設定メニュー

プロジェクターのセットアップ方法について説明します。

### サブメニュー

- テストパターン
- 投影方向
- 言語
- メニュー設定
- 高地モード
- 電源設定
- セキュリティ
- 本体キー設定
- 背景色
- リモコン設定
- デバイスリセット

### テストパターン

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白 から選択するか、この機能を無効 (オフ) にします。

### 投影方向

フロント、リア、天吊り - トップ、背面 - 上部 から希望の投影を選択します。

### 言語

多言語 OSD メニューを選択します。

### メニュー設定

#### メニュー位置

画面上に表示されるメニューの位置を選択します。

#### メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

#### 情報を表示しない

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

### 高地モード

[オン] を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

### 電源設定

#### ダイレクト電源オン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

#### 信号電源オン

[オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

#### **注:**

- [信号電源オン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。
- この機能は HDMI ソースに適用されます。

# プロジェクターを使用する

## 自動電源オフ (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

## スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

**注:** スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。

## 電源モード (スタンバイ)

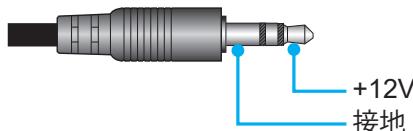
電源モードを設定します。

- エコ:** [エコ] を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。
- 通信:** ネットワーク経由でプロジェクターを制御できるようになるため、消費電力が増加します。
- Communication (20 mins):** 電力モード (スタンバイ時) のネットワーク接続における消費電力を管理することは、EU ErP 指令の要件です。

## 12V トリガー

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

**注:** リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。



- オン:** 「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- オフ:** 「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

## セキュリティ

### セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

**注:** デフォルトのパスワードは「1234」です。

### セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

### パスワードの変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

## 本体キー設定

### キーパッドロック

キーパッドロック機能が [オン] であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

# プロジェクトを使用する

## 背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、または、なしを表示します。

**注:** 背景色が [使用しない] に設定されている場合、背景色は黒になります。

## リモコン設定

### ユーザー1 / ユーザー2 / ユーザー3

リモコンの ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3 ボタンに機能を割り当てます。OSD メニューを経由することなく、簡単に機能を使用できます。

## デバイスリセット

### OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

### すべての設定をリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## 入力メニュー

プロジェクターの入力設定を行う方法について説明します。

### サブメニュー

- 自動ソース
- 入力源の名前を変更
- Input Hide
- HDMI CEC設定

### 自動ソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

### 入力源の名前を変更

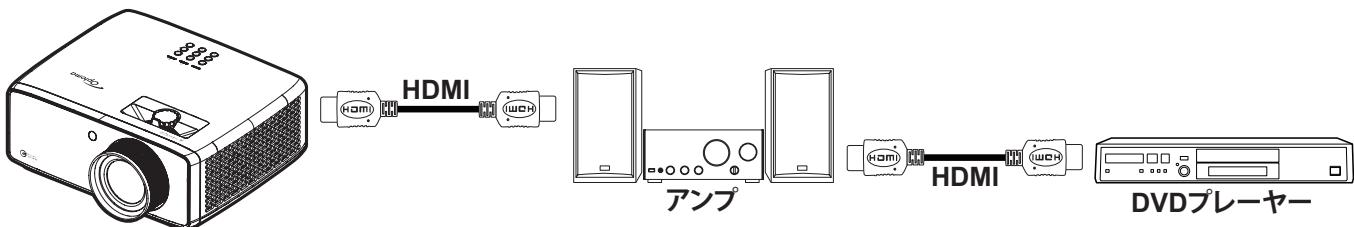
簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは、[HDMI 1]、[HDMI 2]、[HDMI 3]、および [ホーム] です。

### Input Hide

入力ソースメニューから非表示にする入力オプションを選択します。利用可能なオプションは、[HDMI 1]、[HDMI 2]、[HDMI 3]、および [ホーム] です。

### HDMI CEC設定

**注:** HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



### HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

### 電源オンリンク

CEC 電源オンコマンド。

- 双方向設定:** プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- PJ --> デバイス:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

### 電源オフリンク

CEC 電源オフコマンド。

- 双方向設定:** プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオフになります。
- PJ --> デバイス:** プロジェクターがオフになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオフになります。
- デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオフになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオフになります。

### リセット

入力設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

# プロジェクトを使用する

## オーディオメニュー

オーディオ設定を構成する方法について説明します。

### サブメニュー

- 音量
- ミュート
- オーディオモード
- オーディオ出力
- Audio Output Settings

### 音量

音量レベルを調整します。

### ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- オフ: [オフ] を選び、ミュートをオフにします。
- オン: [オン] を選び、ミュートをオンにします。

**注:** [ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

### オーディオモード

自動、標準、映画、ゲームの中から適切なオーディオモードを選択します。

### オーディオ出力

音声出力を自動、内蔵スピーカー、ライン出力 (3.5mm) の間で選択します。

### Audio Output Settings

Analog、SPDIF、eARC の中からオーディオ出力形式を選択します。

**注:** eARC は、Dolby ATMOS をサポートする Dolby ATMOS サウンドバーまたは AVR への Dolby ATMOS パススルーをサポートします。

### リセット

オーディオ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## コントロールメニュー

コントロールメニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。

### サブメニュー

- デバイスID
- LAN
- コントロール

### 補足情報

- Webコントロールパネルの使用
- TelnetによるRS232コマンドの使用

### デバイスID

ID 定義をメニュー (0~99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

**注:** RS232 コマンドの完全な一覧については、当社の Web サイトの RS232 ユーザーマニュアルを参照してください。

### LAN

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

#### ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

#### MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

#### DHCP

DHCP をオンにして、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 1、DNS 2 を自動的に取得します。

#### IP アドレス

プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

#### サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

#### ゲートウェイ

プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

#### DNS 1 / DNS 2

プロジェクターの DNS を割り当てます。

#### リセット

ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

# プロジェクターを使用する

## コントロール

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続を介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから 1 つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。

コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

### クレストロン

Crestron コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.crestron.com> にアクセスしてください。

### Extron

Extron デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.extron.com> にアクセスしてください。

### PJ リンク

PJLink v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://pjlink.jbmia.or.jp/english> にアクセスしてください。

### AMX デバイス検出

AMX デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.amx.com> にアクセスしてください。

### Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、「[RS232 by Telnet] 機能」(60 ページ) を参照してください。

### HTTPS

Web ブラウザーでプロジェクターを制御します。(ポート: 8088)

詳細については、「Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法」(51 ページ) を参照してください。

### コントロール 4

Control 4 コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 53595)

## コントロールポート

コントロール	クレストロン	ポート 41794
	Extron	ポート 2023
	PJ リンク	ポート 4352
	AMX デバイス検出	ポート 9131
	Telnet	ポート 23
	HTTPS	ポート 8088
	コントロール 4	ポート 53595

例: イーサネット経由でのポート HTTP アクセス = 192.168.50.200:8888 (ローカルネットワークには有効なIPアドレスを使用してください)。

### 注:

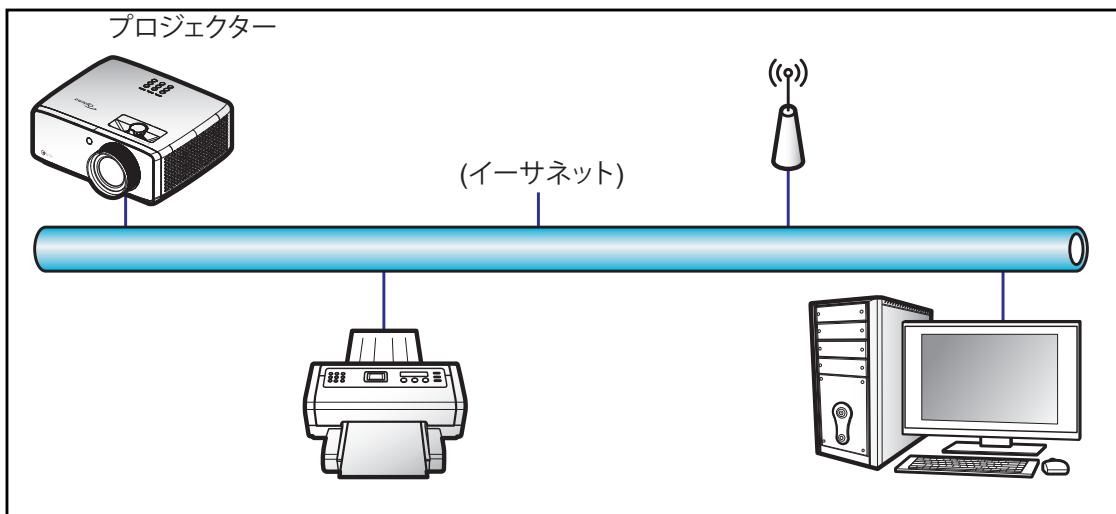
- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。
- LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

# プロジェクターを使用する

## ネットワーク制御のセットアップ

### LAN RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。プロジェクターの LAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソースや消音など、プロジェクターステータス情報も表示できます。



### 有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通じて日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

<http://www.extron.com/>

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

<http://www.amx.com/>

このプロジェクターは、PJLink Class 2 のすべてのコマンドをサポートしています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/english/>

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

# プロジェクターを使用する

## Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法

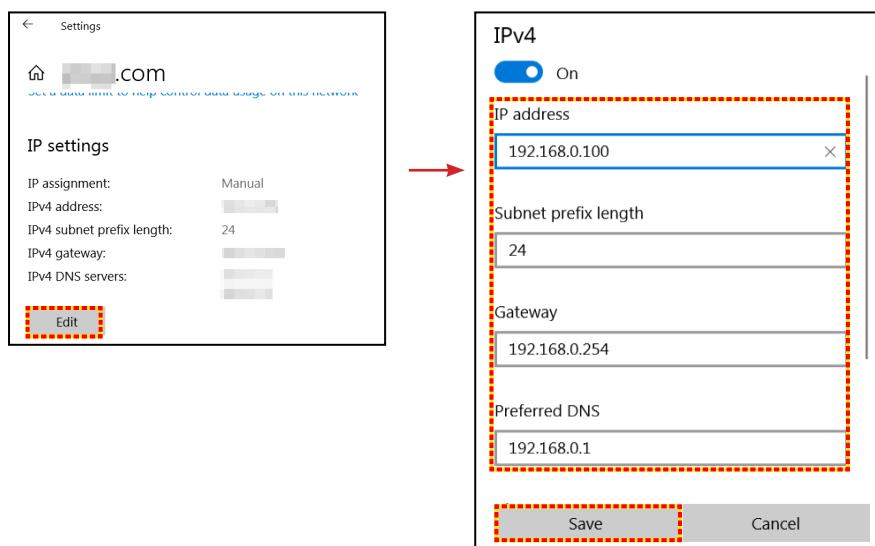
1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクタの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します ([コントロール > LAN > IP アドレス])。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

**注:**

- 既定のユーザー名は「admin」です。
- このセクションの手順は Windows 10 オペレーティングシステムに基づいています。

## コンピュータからプロジェクタに直接接続しているとき\*

1. プロジェクターの DHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します ([コントロール > LAN])。
3. PC の [ネットワークとインターネット] ページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワークパラメーターを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメーターを保存します。



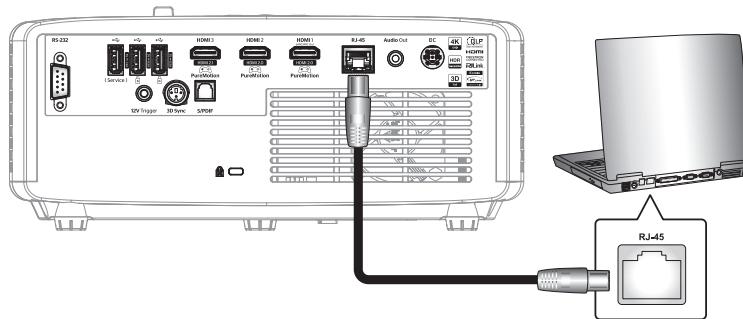
4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスとポートを URL フィールドに入力します。[Enter] キーを押します。

**注:** ポートテーブルについては、48 ページを参照してください。

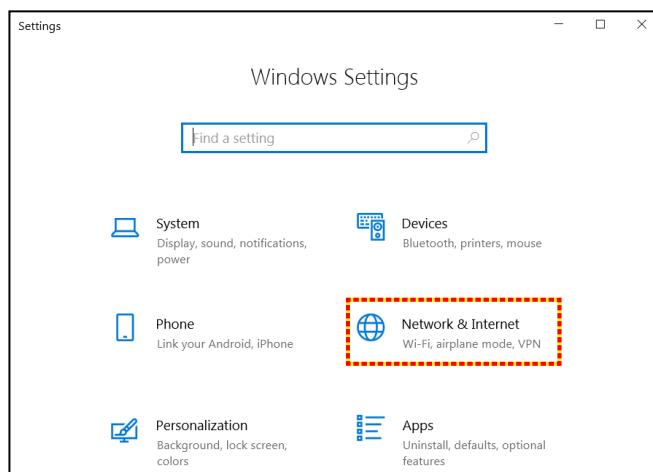
# プロジェクターを使用する

## LAN RJ45

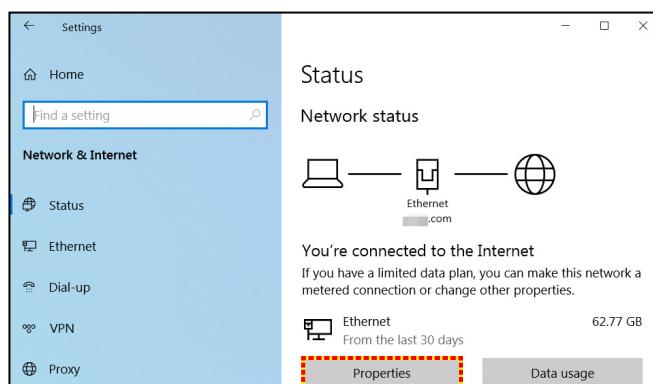
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



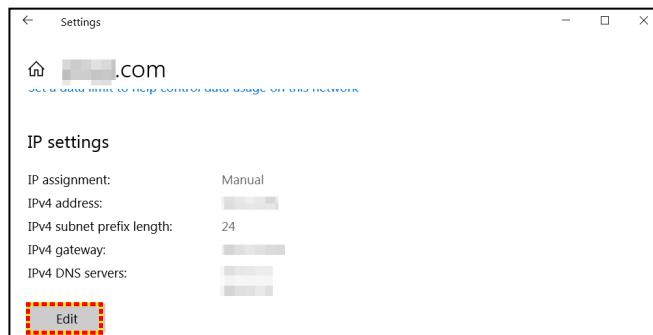
2. PC (ラップトップ) で、[スタート] > [設定] > [ネットワークとインターネット] を選択します。



3. [イーサネット] セクションで、[プロパティ] を選択します。

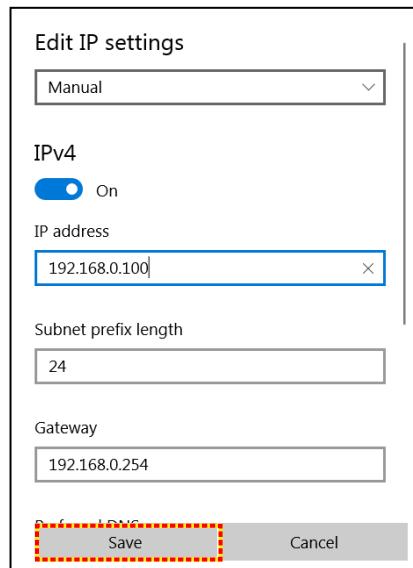


4. [IP 設定] セクションで、[編集] を選択します。

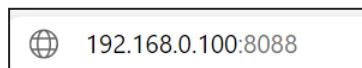


# プロジェクターを使用する

- IP アドレスとゲートウェイを入力し、[保存] を選択します。



- プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
- プロジェクターで **コントロール > LAN** の順に開きます。
- 次の接続パラメーターを入力します。
  - DHCP: オフ
  - IP アドレス: 192.168.0.100
  - サブネットマスク: 255.255.255.0
  - ゲートウェイ: 192.168.0.254
  - DNS: 192.168.0.51
- [Enter] を押し、設定を確定します。
- Adobe Flash Player 9.0 以降がインストールされた Microsoft Edge または Chrome などの Web ブラウザを開きます。
- アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスとポートを入力します: 192.168.0.100 : 8088。



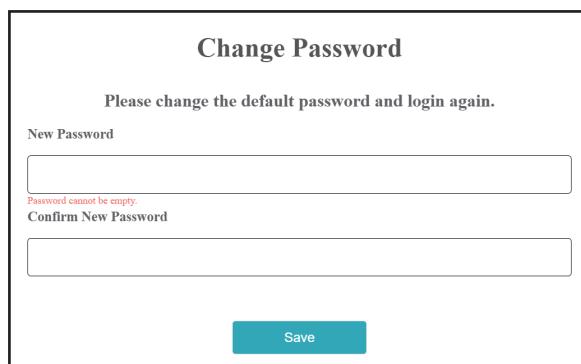
- [Enter] を押します。

# プロジェクターを使用する

このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

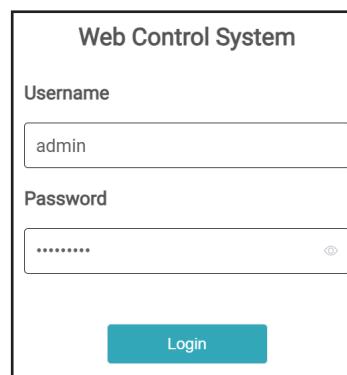
ログイン

初めて Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。  
デフォルトのパスワードを変更してください。



The form is titled "Change Password". It contains a message: "Please change the default password and login again." Below this is a "New Password" field, which has a red error message "Password cannot be empty." Below it is a "Confirm New Password" field. At the bottom right is a blue "Save" button.

デフォルトのパスワードを変更した後は、再度ログインする必要があります。Web ページを開いたら、「パスワード」フィールドに新しいパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



The form is titled "Web Control System". It has two fields: "Username" containing "admin" and "Password" containing a masked password. At the bottom right is a blue "Login" button.

# プロジェクターを使用する

## Administrator

ここで設定したプロジェクターナンバーは PJLink 制御でも使用されます。プロジェクターナンバーとして使用できるのは英数字のみです。最大文字数は 32 文字です。

パスワードには英数字のみを使用できます。最小文字数は 8 文字です。無効な文字を入力すると、「無効な文字です」という警告が表示されます。

新しいパスワードの文字と確認 (新しい) パスワードの文字が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。この場合は、パスワードを再入力してください。

The screenshot shows two side-by-side forms. On the left, the 'Projector Information' section contains fields for 'Projector Name' (set to 'VDUHZLVLV') and 'Projector ID' (set to '0'), with a 'Save' button at the bottom. On the right, the 'Change Password' section contains fields for 'Old Password' (placeholder 'please input...'), 'New Password' (placeholder 'please input...'), and 'Confirm New Password' (placeholder 'please input...'), also with a 'Save' button at the bottom.

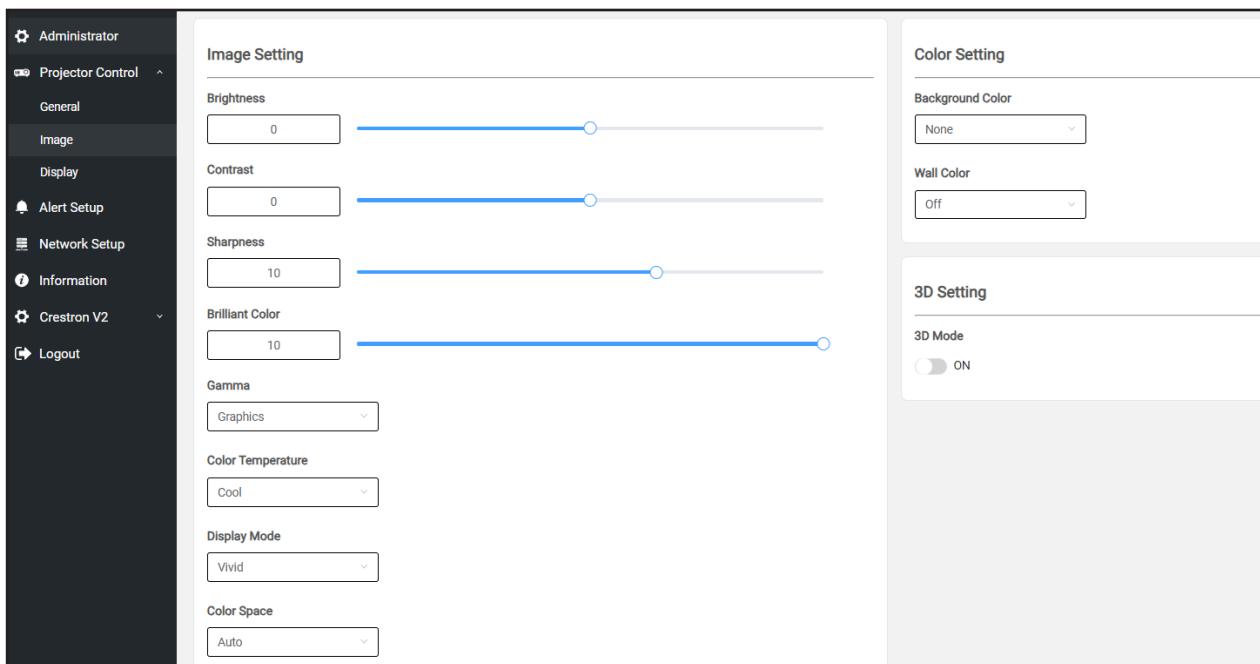
## プロジェクター制御

この項目でプロジェクターを制御できます。ここでは、制御する項目について説明します。

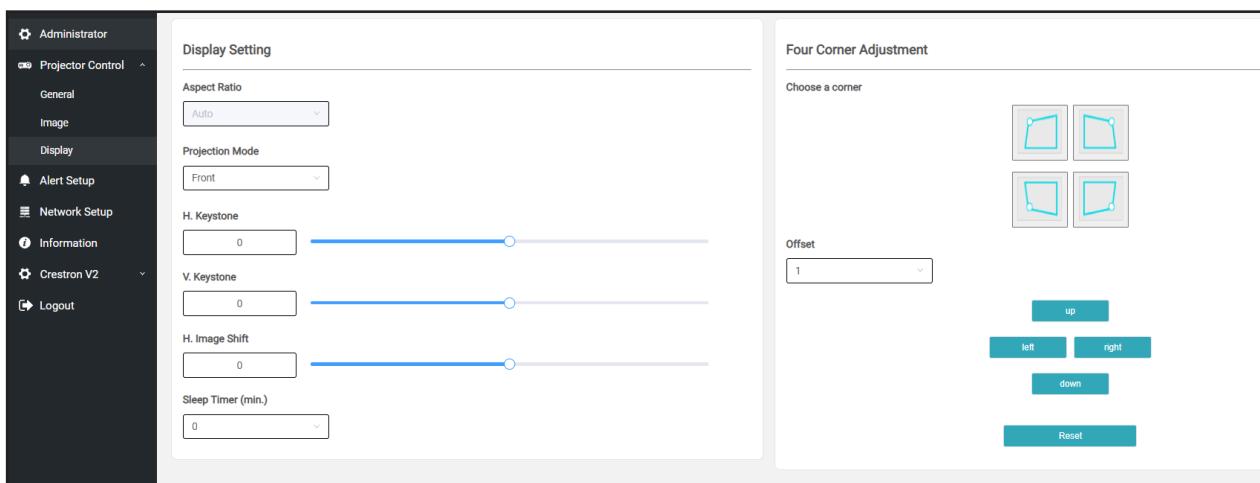
The screenshot shows the 'General Control' section of the Projector Control interface. It includes controls for Power (ON), Resync, Reset OSD, AV Mute, Freeze, High Altitude, Direct Power On, Source (set to 'Home'), and 12V Trigger A/B. To the right, there are sections for 'Volume Setting' (Mute OFF, Volume slider at 5), 'Power Setting' (Power Mode set to 'Eco.', Brightness Mode set to 'Power 100%'), and a large grayed-out area for other settings.

[全般]

# プロジェクターを使用する



[画像]



[ディスプレー]

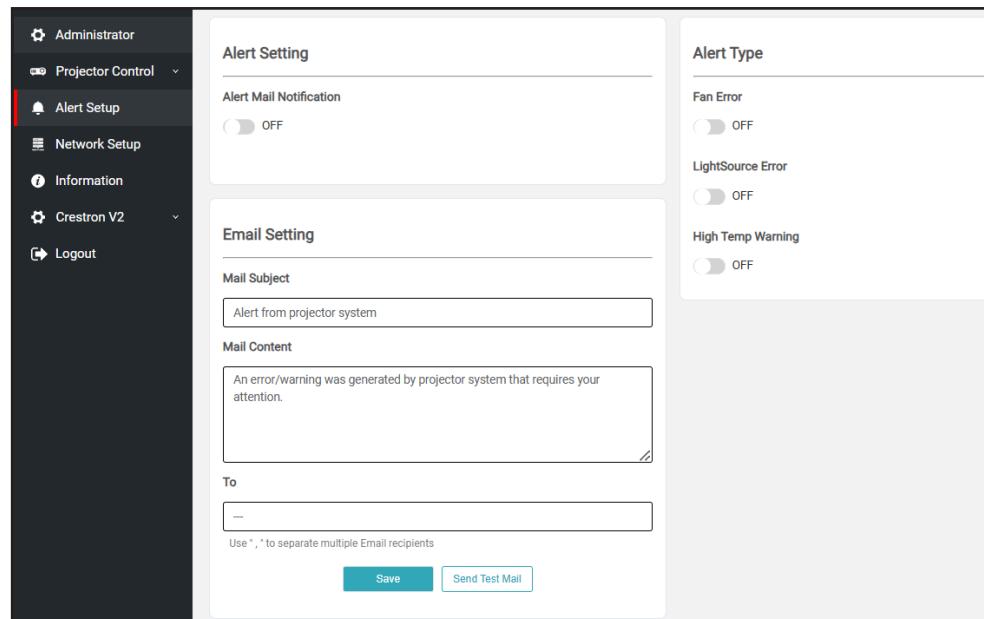
# プロジェクターを使用する

## アラート設定

エラーが発生したときにメールアラートを送信できます。このセクションでは、アラートメールの設定を行うことができます。

1. アラートの種類: アラートメールを送信するエラーの種類にチェックを入れます。
2. アラートメール通知: 次の設定を確認して実行します。
  - SMTP 設定: 以下を設定します。
    - a) SMTP サーバー: サーバーアドレス (サーバー名) (SMTP サーバー)
    - b) ポート: SMTP セキュアポート。例25、465、587、2525
    - c) ユーザー名: メールサーバーのユーザー名
    - d) パスワード: メールサーバーのパスワード
    - e) 差出人: 送信者のメールアドレス
  - メール設定: 以下を設定します。
    - a) メールの件名
    - b) メールの内容
    - c)宛先: 送信者のメールアドレスを入力します。
3. 「保存」をクリックして値を固定します。
4. テストメールを送信します。

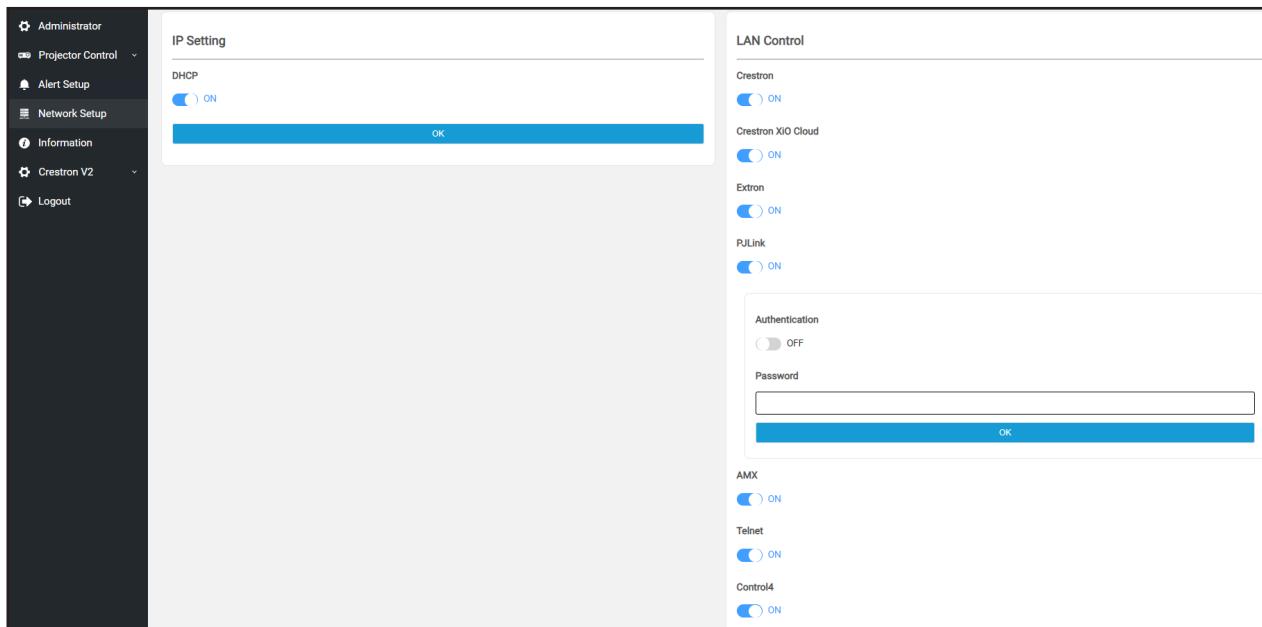
[テストメール送信] をクリックすると、テストメールが送信されます。テキストは「Email Test xxx.xxx.xxxx.xxx.\*」になります。



# プロジェクターを使用する

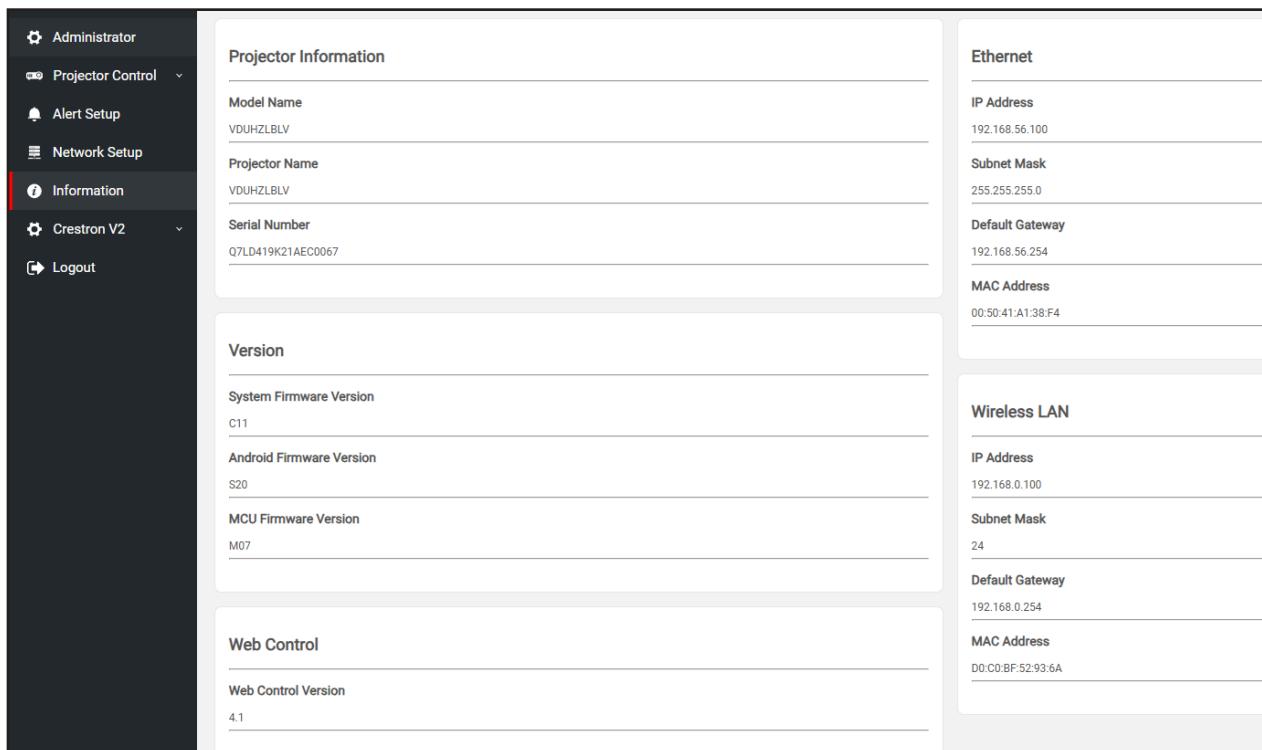
## ネットワーク設定

プロジェクターのネットワークを設定します。



## 情報

プロジェクターの現在のステータスが表示されます。プロジェクターのモデル名、ファームウェアバージョン、Web コントロールバージョン、現在のネットワーク構成を確認できます。



# プロジェクターを使用する

## Crestron V2

接続ステータスを表示し、Crestron 関連の設定を構成します。

The screenshot shows the Crestron V2 web interface. On the left is a dark sidebar with navigation links: Administrator, Projector Control, Alert Setup, Network Setup, Information, Crestron V2 (which is expanded to show Configuration, Certificate Upload, and Logout), and Logout. The main area is divided into two sections: 'XIO Cloud' on the left and 'Crestron V2' on the right. The 'XIO Cloud' section has a 'Connection Status' field with a red 'X' icon and the text 'XIO Cloud'. The 'Crestron V2' section includes fields for 'Interface' (set to 'Control System'), 'Secure' (radio button OFF), 'Auto Discovery' (radio button OFF), 'IP Address' (text input 'please input...'), 'IP ID' (text input '2'), 'Port' (text input '41794'), and a 'Connected' button at the bottom.

[構成]

The screenshot shows the 'Control System & VC4' and 'Fusion' sections of the Crestron V2 interface. Both sections have 'Choose File' fields with 'Select', 'Upload', and 'Clear' buttons. Below each file field is a blue bar with the text 'Delete all certificates'. The sidebar on the left remains the same as the previous screenshot.

[証明書のアップロード]

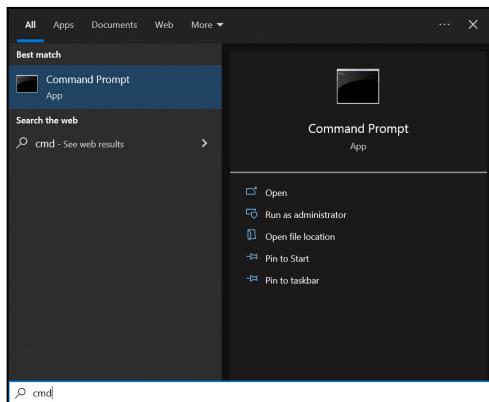
# プロジェクトを使用する

## [RS232 by Telnet] 機能

制御の代替方法として、このプロジェクトには、LAN/RJ45 インターフェイス用の TELNET による RS232 コマンド制御があります。

## [RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
  - PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
  - PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。
1. [検索]  をクリックし、検索語として「cmd」と入力します。「Enter」キーを押します。



2. コマンドプロンプトアプリを開きます。
3. コマンドを次の形式で入力します。
  - telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
  - (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
4. Telnet 接続の準備ができており、ユーザーが RS232 コマンドを入力できる場合は、「Enter」キーを押すと、Telnet 接続で RS232 コマンド制御の準備が整います。

## [RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細については、Optoma サービスチームにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet セッションを終了するには、コマンドプロンプトアプリウィンドウを閉じます。
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
  - Telnet 制御の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの連続するネットワークペイロードは 50 バイトを超えることはできません。
  - Telnet 制御の制限 2: Telnet-Control の連続する RS232 コマンドは、26 バイトを超えることはできません。
  - Telnet 制御の制限 3: 次のコマンドの最小遅延は 200 (ミリ秒) を超えている必要があります。

## リセット

コントロール設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## 情報メニュー

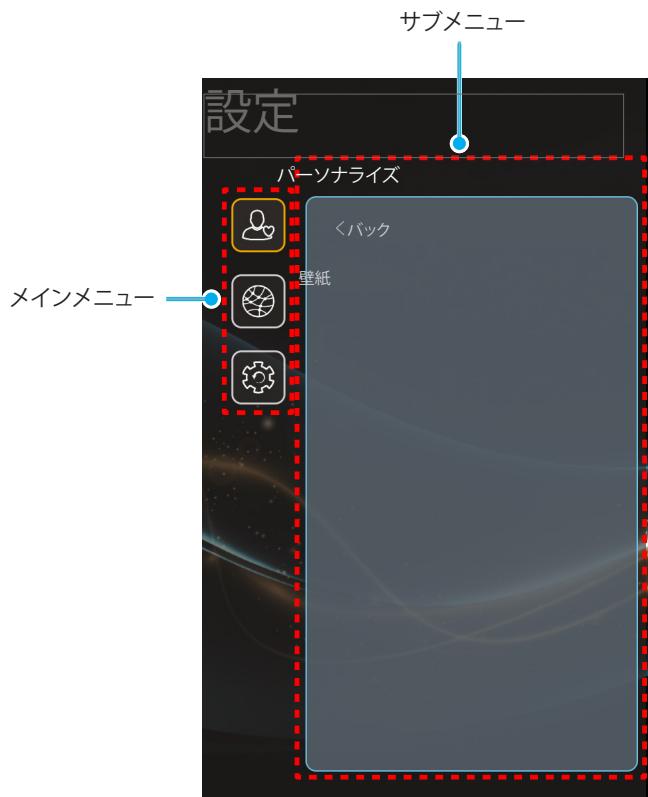
プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

- 制御
- シリアル番号
- ソース情報
- ピクチャーモード
- カラー情報
- 電源モード (スタンバイ)
- Light Source Hours
- 輝度モード
- デバイスID
- IP アドレス
- ネットワーク情報
- MACアドレス
- Bluetooth リモート Status
- FWバージョン

# プロジェクターを使用する

## システム設定

ランチャー画面で、**設定**メニュー (⚙) を選択して、各種システム設定を構成してください。



### 設定メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
パーソナライズ	壁紙	Optoma スタイル…		
			Wi-Fi	オフ
	Wireless	利用可能なネットワーク SSID (Wi-Fi がオンであるとき)		オン [デフォルト]
			パスワードの入力 [Wi-Fi 名] (パスワードを入力する とき)	[ポップアップダイアログ] - タイトル: パスワードの入力 [Wi-Fi 名] - 字幕: パスワード - 入力:(テキストの入力) - チェックボックス: パスワードを表示します。 - ボタン:[キャンセル]/[OK]
			インターネット接続	
			IP アドレス	
			MAC アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			DNS 1	
			DNS 2	
			信号強度	

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値		
ネットワーク	Wireless	利用可能なネットワーク SSID (Wi-Fi がオンであるとき)	プロキシ設定	使用しない マニュアル [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効なホスト名を入力してください。 字幕: プロキシ ホスト名 入力ヒント: proxy.example@com ボタン:[キャンセル]/[OK]		
				DHCP 静的 [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効な IP アドレスを入力してください。 字幕: IP アドレス 入力ヒント: 192.168.1.128 ボタン:[キャンセル]/[OK]		
			IP 設定	キャンセル		
				Forget [ポップアップダイアログ] ヒント:[Wi-Fi 名] タイトル: ネットワーク情報の消去 コンテンツ: デバイスはこのWi-Fiネットワークに接続していません。 ボタン:[キャンセル]/[OK]		
			新しいネットワークを追加 ポータブル ホットスポット	[ポップアップダイアログ] タイトル: Wi-Fiネットワークの名前を入力する 入力:(テキストの入力) ボタン:[キャンセル]/[OK]		
	その他のオプション			[ポップアップダイアログ] コンテンツ: セキュリティの種類 ボタン:なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAP		
				ポータブル Wi-Fi ホットスポット オン オフ		
				ネットワーク名 [ポップアップダイアログ] タイトル: ネットワーク名の変更 入力:(テキストの入力) ボタン:[キャンセル]/[OK]		
				セキュリティ [ポップアップダイアログ] タイトル: セキュリティの種類 ボタン:なし、WPA2 PSK		
				パスワード [ポップアップダイアログ] タイトル: パスワードの変更 入力:(テキストの入力) 説明: 「パスワード少なくとも8文字にしてください。」 チェックボックス: 「パスワードを表示します。」 ボタン:[キャンセル]/[OK]		

# プロジェクトを使用する

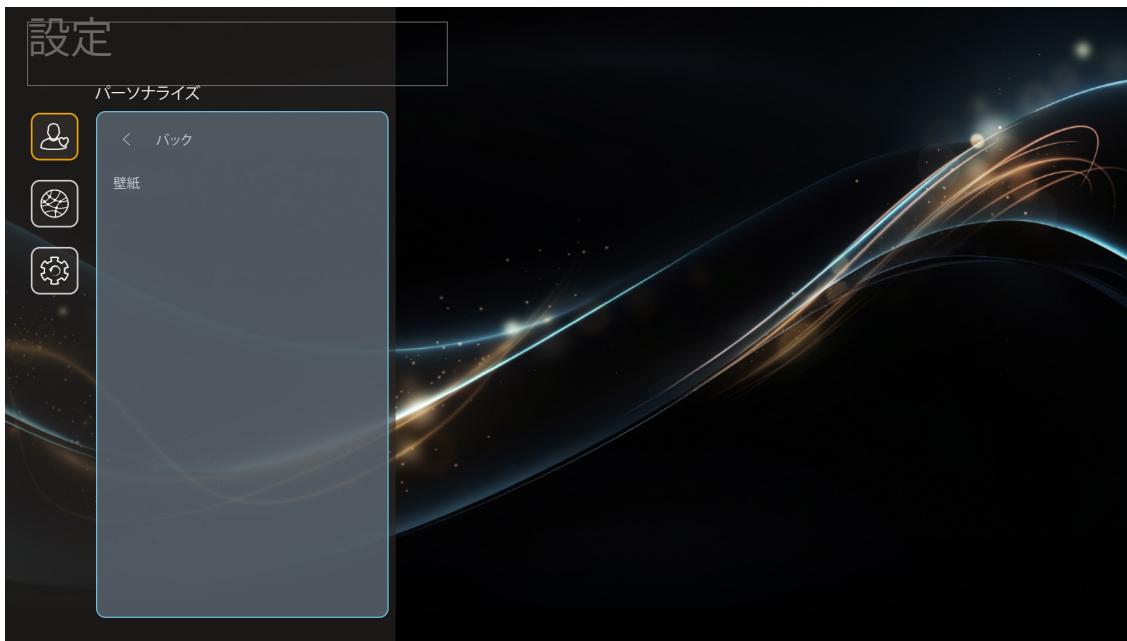
レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
System	表示共有			
	ファイルマネージャー			
	キーボード	線在のキーボード		
		キーボードの管理	Other Keyboard	オン オフ [デフォルト]
			Kika キーボード	オン [デフォルト] オフ
	日付および時刻	タイムゾーンを選択		-12:00、-11:00、-10:00、-09:30、-09:00、-08:00、-07:00 、-06:00、-05:00、-04:00、-03:30、-03:00、-02:00 、-01:00、00:00、+01:00、+02:00、+03:00、+03:30 、+04:00、+04:30、+05:00、+05:30、+05:45、+06:00 、+06:30、+07:00、+08:00、+08:30、+8:45、+09:00 、+09:30、+10:00、+10:30、+11:00、+12:00、+12:45 、+13:00、+14:00
		夏時間		オン
				オフ [デフォルト]
		24時間表示の使用		オン
				オフ [デフォルト]
	システムアップデート			
	法的	利用規約		
		プライバシーポリシー		
		クッキーに関するポリシー		
		オープンソースライセンス		

**注:**

- 機能は、モデル定義により異なります。
- 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

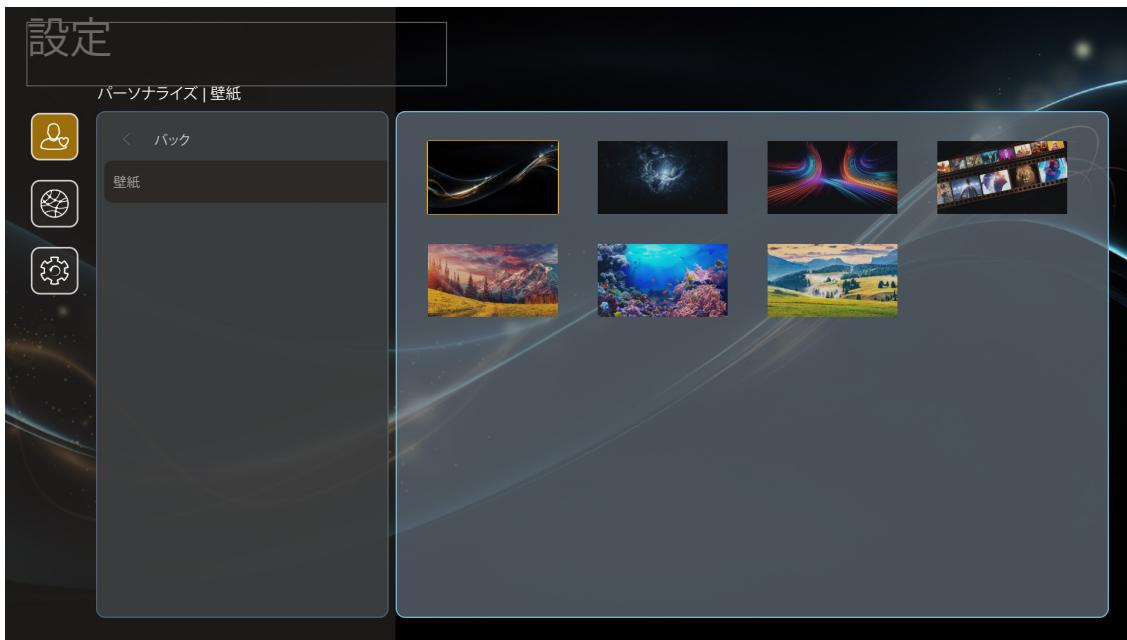
# プロジェクトを使用する

## メニューのパーソナライズ



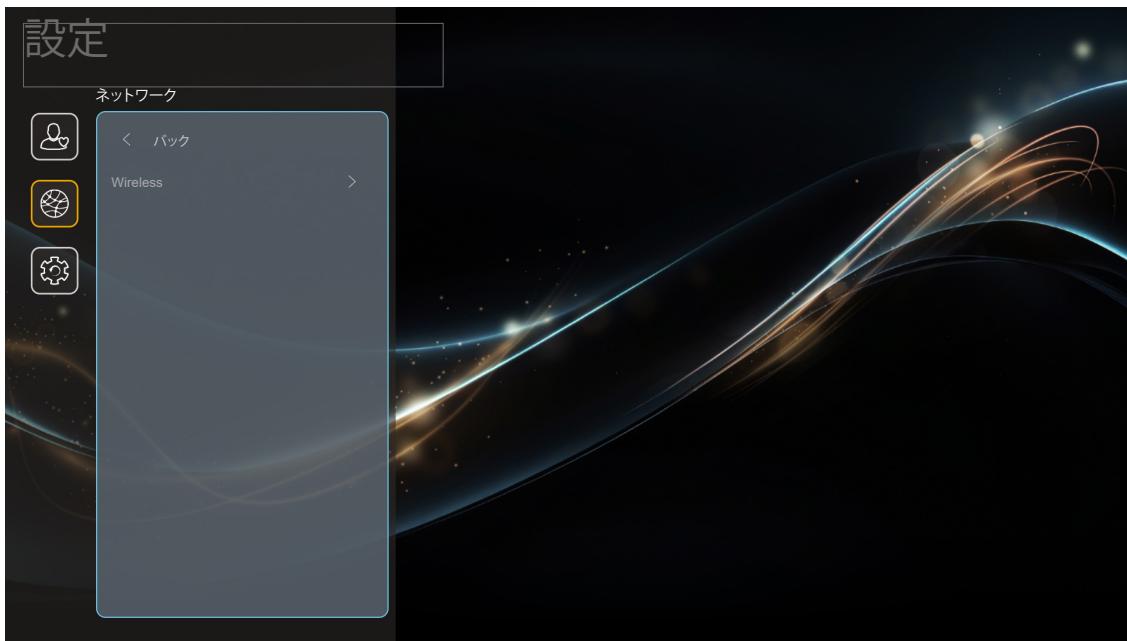
### 壁紙

ホーム画面の壁紙を設定します。



# プロジェクターを使用する

## ネットワークメニュー



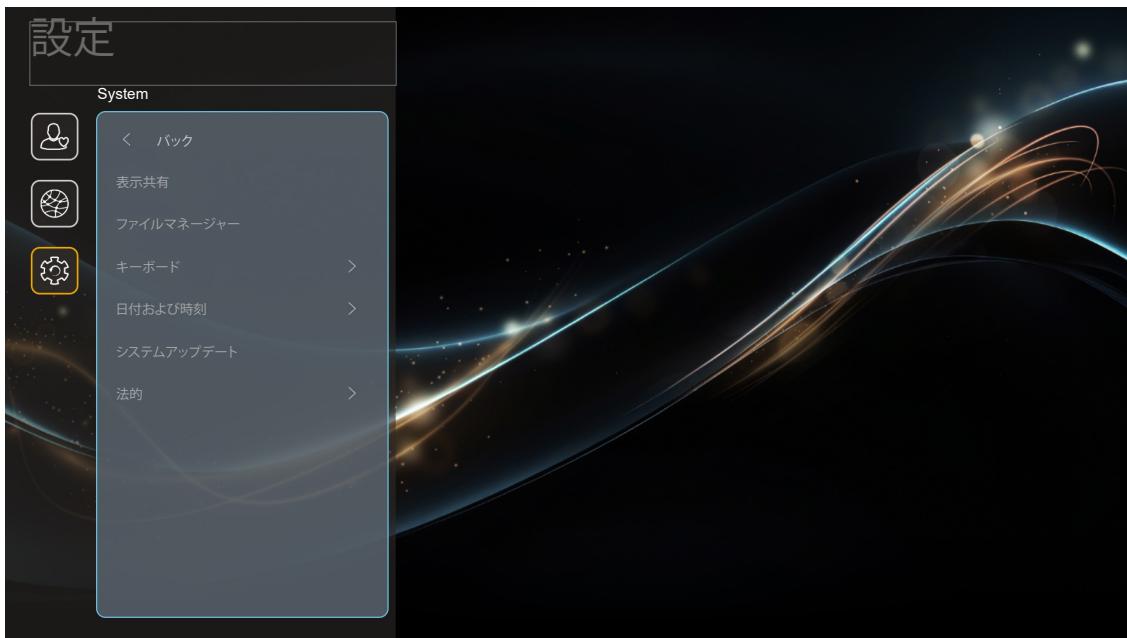
### Wireless

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

- **Wi-Fi:** Wi-Fi オプションを「オン」に設定して、ワイヤレスネットワーク機能を無効にします。
- **利用可能なネットワーク SSID:** 目的のワイヤレスアクセスポイントを選択し、例えば、パスワード、プロキシ設定、IP アドレスなどの必要な接続パラメータを入力または構成してください (必要に応じて)。情報につき、信号強度を確認できます。  
設定を保存せず、ネットワークメニューに戻るには、「キャンセル」を選択してください。ワイヤレスネットワークプロファイルを削除するには、「Forget」を選択してください。
- **注:** 記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。
- **その他のオプション:** 「新しいネットワークを追加」(ネットワーク名を手動で入力します)、「ポータブル ホットスポット」(他のデバイスに対するワイヤレスアクセスポイントとして動作するように、プロジェクターを構成します)などの詳細ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

# プロジェクターを使用する

## システムメニュー



### 表示共有

ディスプレー共有アプリを起動します。68 ページ を参照してください。

### ファイルマネージャー

ファイルマネージャー アプリを起動します。69 ページ を参照してください。

### キーボード

キーボードを選択して管理します。

### 日付および時刻

日時設定を構成してください。

- タイムゾーンを選択: タイムゾーンを選択してください。
- 夏時間: お住まいの地域で夏時間が採用されている場合は、「オン」に設定してください。
- 24時間表示の使用: 24 時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「オン」に設定してください。12 時間フォーマット (AM/PM) で時刻を表示する場合は、「オフ」に設定してください。

### システムアップデート

プロジェクターがインターネット (OTA) に接続されるとき、システムは、更新を自動的に検索します。

### 法的

「利用規約」、「プライバシーポリシー」、「クッキーに関するポリシー」、および「オープンソースライセンス」などのリーガル文書を確認してください。

**注:** オンラインでも法的文書を確認できます。次の Web アドレスを参照してください:

- 利用規約: <https://www.optoma.com/terms-conditions/>
- クッキーに関するポリシー: <https://www.optoma.com/cookies-policy/>
- プライバシーポリシー: <https://www.optoma.com/software-privacy-policy/>

# プロジェクターを使用する

## 入力ソースを手動で選択する

自動ソース機能がオフになっていて、希望の入力ソースがホーム画面に表示されない場合は、ホーム画面で入力ソース(④)を選択するか、リモコンの④ボタンを押して、希望の入力ソースを選択します。

## アプリの選択

インストールされているすべてのアプリを表示するには、設定メニュー(⑤)を選択します。次に、目的のアプリ(表示共有またはファイルマネージャー)を選択します。



# プロジェクターを使用する

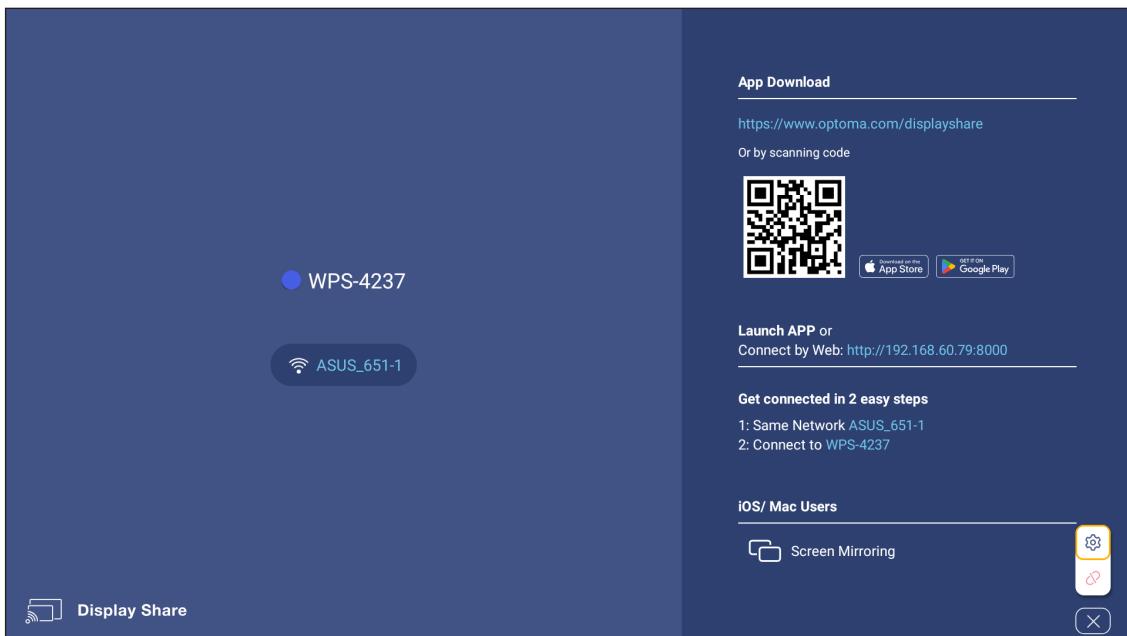
## 表示共有

アプリ入手するには、次のいずれかを実行してください:

- モバイルデバイスを使用している場合は、画面上の QR コードをスキャンしてください。
- コンピューターを使用している場合は、リンクにアクセスしてください。

次に、コンピューターまたはモバイルデバイスに Display Share アプリをインストールします。

開始する前に、コンピューターまたはモバイルデバイスをプロジェクターと同じ Wi-Fi に接続してください。次に、画面の指示に従ってアプリを操作してください。

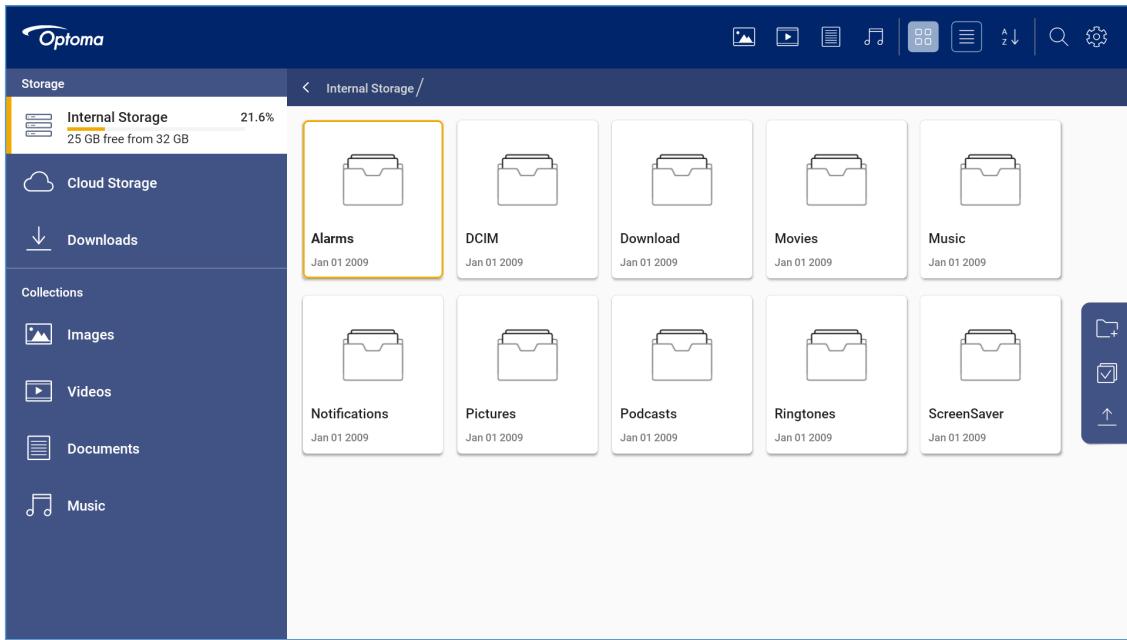


**注:** iOS 画面ミラーリング機能を最初にアクティビ化するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してから、Display Share アプリを起動してください。この初期手順を実行する必要があるのは 1 回だけです。初期接続が確立された後は、iOS 画面ミラーリング機能を後で使用するために Display Share アプリを開く必要はありません。

# プロジェクトを使用する

## ファイルマネージャー

File Manager アプリを使用すると、内部ストレージ、外部ストレージ、クラウドストレージに保存されているファイルを管理することができます。



# 追加情報

## 対応解像度

### HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640x480	60/67/72/75	Mac 60/75
	720x400	70	
SVGA	800x600	56/60/72/75	Mac 60/75
	832x624	75	Mac 75
XGA	1024x768	60/70/75/120	Mac 60/70/75
SDTV(480P)	720x480	60	
SDTV(576P)	720x576	50	
HDTV(720P)	1280x720	60/120	Mac 60
WXGA	1280x800	60	Mac 60
	1440x900	60	
WXGA	1366x768	60	
SXGA	1280x1024	60/75	Mac 60/75
	1440x900	60	
SXGA+	1400x1050	60	
UXGA	1600x1200	60	
HDTV(1080I)	1920x1080	60	
HDTV(1080p)	1920x1080	24/50/60/120/240	Mac 60
WQHD	2560x1440	120	
UHD(2160p)	3840x2160	24/30/50/60/120	
	4096x2160	24/50/60/120	

### 3D サポートタイミング

HDMI1.4a 3D タイミング (Blue-Ray 3D の場合)

信号	タイミング
720p (フレームパッキング)	1280x720@50Hz
720p (フレームパッキング)	1280x720@60Hz
1080p (フレームパッキング)	1920x1080@23.98/24Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@50Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@60Hz
1080p (トップアンドボトム)	1920x1080@23.98/24Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@50(25)Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@60(30)Hz

### PC 3D タイミング

信号	タイミング
フレームシーケンシャル	1920x1080@120Hz
	1280x720@120Hz
	1024x768@120Hz

# 追加情報

## EDID (Digital)

B0/確立タイミング		B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [KHz]	解像度	垂直 [Hz]	比率	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	1024x768	120.0	04:03	3840x2160	60.0
640x480	60.0	31.5	1280x720	60.0	16:09		
640x480	66.6(67)	34.9	1280x720	120.0	16:09		
640x480	72.0	37.9	1280x800	60.0	16:10		
640x480	75.0	37.5	1280x1024	60.0	05:04		
800x600	56.0	35.1	1440x900	60.0	16:10		
800x600	60.0	37.9	1400x1050	60.0	04:03		
800x600	72.0	48.1	1600x1200	60.0	04:03		
800x600	75.0	46.9					
832x624	75.0	48.9					
1024x768	60.0	48.4					
1024x768	70.0	56.5					
1024x768	75.0	60.0					
1280x1024	75.0	80.0					
1152x870	75.0	67.5					

B1/ビデオモード		B1/詳細タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	Normal
640x480p 4:3	60.0	1920x1080	240.00	V
720x480p 16:9	60.0	2560x1440	120.00	V
1280x720p 16:9	60.0			
1920x1080i 16:9	60.0			
1920x1080p 16:9	60.0			
720x576p 16:9	50.0			
1280x720p 16:9	50.0			
1920x1080i 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	24.0			
1920x1080p 16:9	120.0			
2560 x 1080p 64:27	50.0			
2560 x 1080p 64:27	60.0			
3840 x 2160p 16:9	24.0			
3840 x 2160p 16:9	30.0			
3840 x 2160p 16:9	50.0			
3840 x 2160p 16:9	60.0			
4096 x 2160p 256:135	24.0			
4096 x 2160p 256:135	60.0			
3840x2160 16:9	120.0 * HDMI 2.1 のみ			
4096x2160 256:135	120.0 * HDMI 2.1 のみ			

# 追加情報

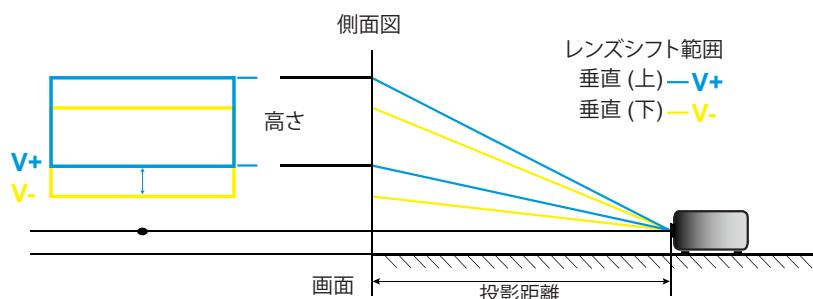
オーディオデータ			
フォーマット	eARC	SPDIF	LPCM
LPCM(IEC 60958 PCM[30、31])	✓	✓	✓
Dolby Digital(5.1)	✓	✓	
DTS			
Dolby Digital Plus(7.1)	✓		
DTS-HD			
Dolby TrueHD/MAT	✓		
ATMOS Passthrough			

# 追加情報

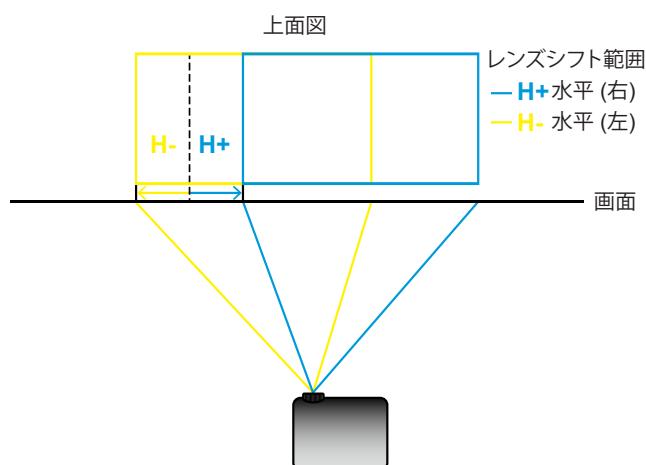
## 画像サイズと投影距離

(a) スクリーンサイズ		(b) 投影距離				(c) 画像高さ		(d) 垂直オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	36.61	930	58.57	1488	14.71	374	2.35	60
40	1016	48.81	1240	78.09	1984	19.61	498	3.14	80
50	1270	61.01	1550	97.62	2479	24.51	623	3.92	100
60	1524	73.21	1860	117.14	2975	29.42	747	4.71	120
70	1778	85.41	2170	136.66	3471	34.32	872	5.49	139
80	2032	97.62	2479	156.19	3967	39.22	996	6.28	159
90	2286	109.82	2789	175.71	4463	44.12	1121	7.06	179
100	2540	122.02	3099	195.23	4959	49.03	1245	7.84	199
110	2794	134.22	3409	214.76	5455	53.93	1370	8.63	219
120	3048	146.42	3719	234.28	5951	58.83	1494	9.41	239
130	3302	158.63	4029	253.80	6447	63.73	1619	10.20	259
140	3556	170.83	4339	273.33	6942	68.64	1743	10.98	279
150	3810	183.03	4649	292.85	7438	73.54	1868	11.77	299
200	5080	244.04	6199	390.47	9918	98.05	2491	15.69	398
250	6350	305.05	7748	488.08	12397	122.57	3113	19.61	498
300	7620	366.06	9298	585.70	14877	147.08	3736	23.53	598

希望のイメージサイズ:



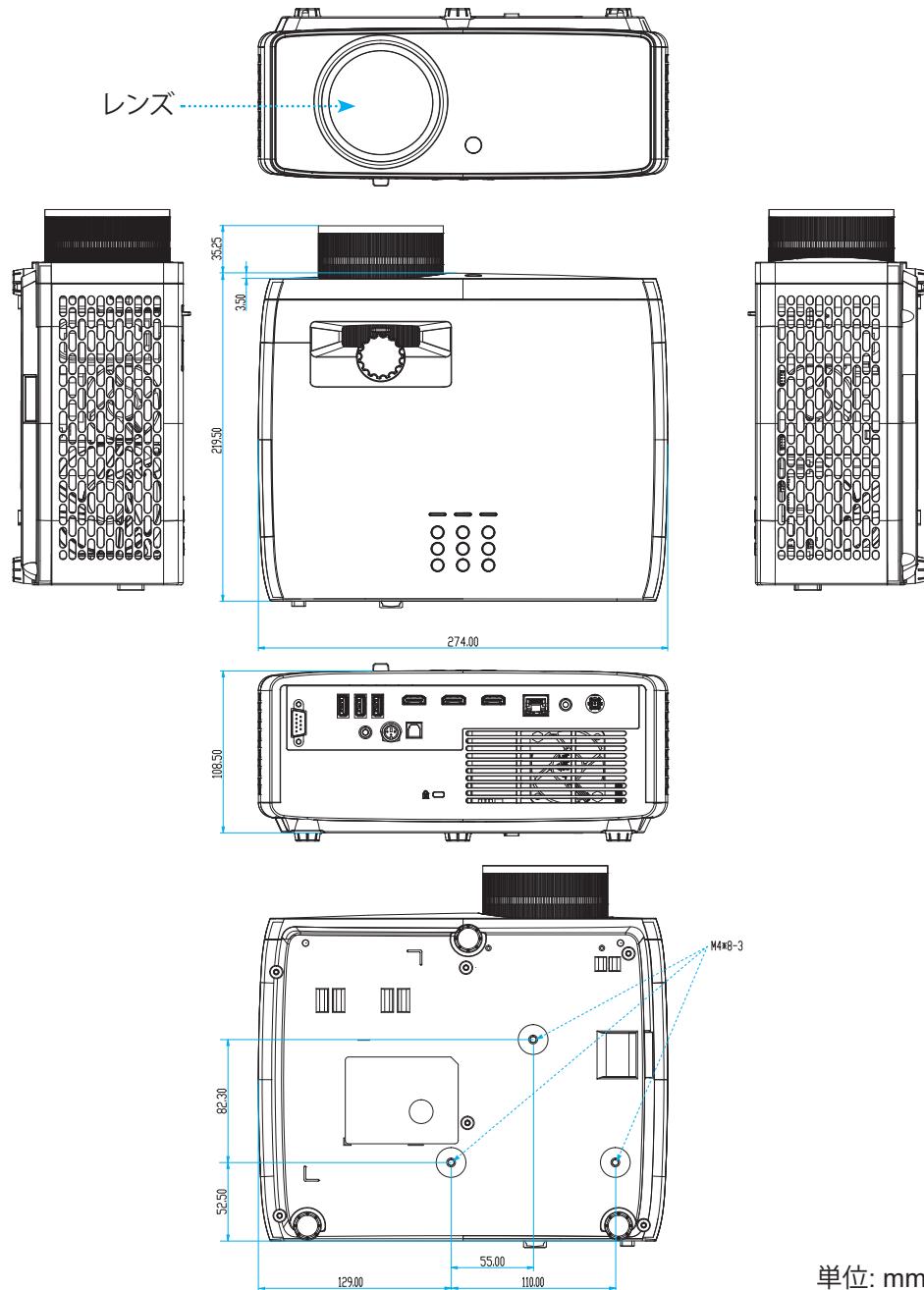
レンズシフト範囲:



# 追加情報

## プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
  - ネジの種類: M4\*8mm
  - 最小ネジ長: 8 mm



**注:** プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しては、保証は無効になります。予めご了承ください。

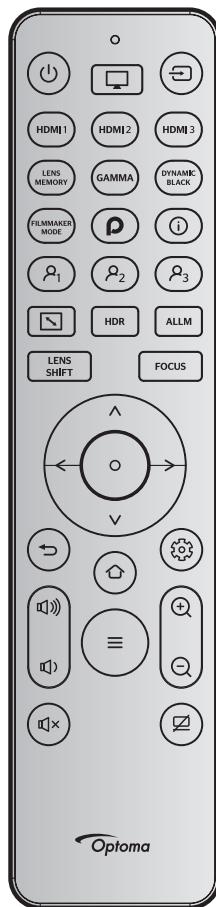


警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

# 追加情報

## IR リモートコード



キー	フォーマット	コード				
		カスタマーコード		DATA コード		
		DATA0	DATA1	DATA2	DATA3	
電源	⌃	F1	32	CD	71	8E
ピクチャーモード	📺	F1	32	CD	05	FA
ソース	➡	F1	32	CD	C3	3C
HDMI 1	HDMI1	F2	32	CD	16	E9
HDMI 2	HDMI2	F2	32	CD	30	CF
HDMI 3	HDMI3	F2	32	CD	98	67
レンズメモリ (Not supported)	LENS MEMORY	F1	32	CD	D5	2A
ガンマ	GAMMA	F1	32	CD	7E	81
ダイナミックブラック	DYNAMIC BLACK	F1	32	CD	44	BB
フィルムメーカー モード	FILMMAKER MODE	F1	32	CD	DF	20
PureEngine Ultra	⟳	F1	32	CD	D9	26
情報	ⓘ	F1	32	CD	DB	24
ユーザー1	ꝝ1	F1	32	CD	36	C9

# 追加情報

キー	フォーマット	コード			
		カスタマーコード		DATA コード	
		DATA0	DATA1	DATA2	DATA3
ユーザー 2	♂ <sub>2</sub>	F1	32	CD	65 9A
ユーザー3	♂ <sub>3</sub>	F1	32	CD	66 99
アスペクト比	☒	F1	32	CD	64 9B
HDR	HDR	F1	32	CD	DC 23
ALLM	ALLM	F2	32	CD	DD 22
レンズシフト (Not supported)	LENS SHIFT	F1	32	CD	D8 27
フォーカス (Not supported)	FOCUS	F1	32	CD	D7 28
上	^	F2	32	CD	11 EE
左	<	F2	32	CD	10 EF
決定	○	F1	32	CD	0F F0
右	>	F2	32	CD	12 ED
Down (下)	▼	F2	32	CD	14 EB
戻る	↶	F1	32	CD	0D F2
ホーム / ランチ バー	⌂	F1	32	CD	A0 5F
Device Setup × メニュー	⚙	F1	32	CD	A8 57
VOL+	🔊	F2	32	CD	8C 73
メインメニュー	☰	F1	32	CD	0E F1
ZOOM+	⊕	F2	32	CD	BC 43
VOL-	🔇	F2	32	CD	DA 25
ZOOM-	⊖	F2	32	CD	BD 42
ミュート	🔇×	F1	32	CD	52 AD
AV 消音	🔇☒	F1	32	CD	03 FC

# 追加情報

## トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

### 画像の問題

#### ② スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

#### ② 画像のピントが合っていない

- 画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。  
(19 ページを参照してください。)
- 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。  
(73 ページを参照してください)。

#### ② 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 垂直ストレッチフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDで垂直ストレッチとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

#### ② 画像が大きすぎるか、小さすぎる

- ズームレバーを時計回りまたは反時計回りに回して、投影される画像のサイズを拡大または縮小します。  
(19 ページを参照してください。)
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押し、[表示 → アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。

#### ② 画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るよう配置し直してください。

#### ② 画像が反転する

- OSD から、[設定→ 投射方向] を選択し、投射方向を調整します。

# 追加情報

## その他の問題

- プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

## リモコンの問題

- リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから  $\pm 15^\circ$  以上ずれていないことを確認します。
  - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから 6 m (19.7 フィート) 以内に移動する。
  - 電池が正しくセットされていることを確認する。
  - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

# 追加情報

## 警告インジケーター

警告インジケーター(以下を参照)が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- [レーザー] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。
- [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LED インジケータが赤く点滅し、[電源] インジケータが赤く点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケーターが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

## LED 点灯メッセージ

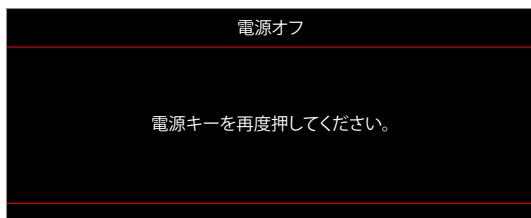
メッセージ	電源 LED		温度 LED (赤色)	レーザー LED (赤色)
	(赤色)	(青)		
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯	-	-	-
電源オン (ウォーミング)	-	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	-	-
電源オン (レーザー点灯)	-	点灯	-	-
電源オフ (冷却中)	-	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)。冷却ファンがオフになると、赤色の点灯に戻ります。	-	-
エラー (レーザーに問題あり)	点滅	-	-	点灯
エラー (ファン障害)	点滅	-	点滅	-
エラー (過熱)	点滅	-	点灯	-
スタンバイ状態 (バーンインモード)	-	点滅	-	-
バーンイン (警告) (*)	-	点滅	-	-
バーンイン (冷却中) (*)	-	点滅	-	-
バーンイン (レーザー照明) (*)	-	点滅 (3 秒オン/1 秒オフ)	-	-
バーンイン (レーザーオフ) (*)	-	点滅 (1 秒オン/3 秒オフ)	-	-

### 注:

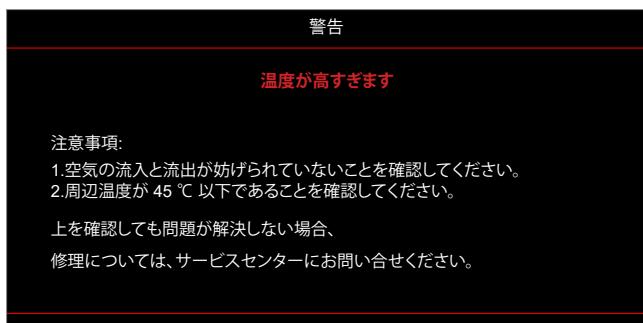
- (\*) 電源が 0.5W 未満で、電源 LED が赤色の場合、電源 LED は赤色点滅に変わります。
  - OSD メニューが消えると、すべての LED がオフになります。
  - 電源 LED オン: 信号なし。OSD が消えます。
  - 電源 LED オフ: 信号が検出されました。OSD が消えます。

# 追加情報

- 電源オフ:



- 温度警告:



# 追加情報

## 仕様

項目	説明
最大解像度	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMI (2.1): 3840x2160@120Hz</li><li>HDMI ポートは最大 3840*2160/120Hz (FRL) です</li></ul>
レンズ	<ul style="list-style-type: none"><li>スロービー: 1.4 ~ 2.24</li><li>F-停止: 2.5 ~ 3.26</li><li>焦点距離: 20.91 ~ 32.62mm</li><li>ズーム範囲: 1.6X</li></ul>
オフセット	118% ±5%
画像サイズ	45 インチ ~ 145 インチ (光学調整範囲 (ワイド)、最適サイズは 60 インチワイド@1.86 m) 20.2 インチ ~ 320.4 インチ (機構可動範囲 (ワイド))
投影距離	1.4 m ~ 4.5 m (光学調整範囲)。 1.0 m ~ 10.0 m (機構可動範囲)
I/O	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMI 2.0 x2</li><li>HDMI 2.1 x1</li><li>USB Type-A x3<ul style="list-style-type: none"><li>1 (電源 USB 5V/1.5A および DLPC7541 FW アップグレード用)</li><li>2 (電源 USB 5V/0.9A およびマルチメディア、Wi-Fi ドングル、Android TV プロセッサ FW アップグレード用)</li></ul></li><li>RJ45 x1</li><li>S/PDIF x1</li><li>3D 同期 x1 (3D 同期信号出力、ミニ Din 3 ピン コネクタ)</li><li>12V トリガ x1 (DC 出力3.5mm ジャック、メス、最大 12V/0.5A)</li><li>オーディオ出力 x1 (3.5mm ジャック、メス、黒)</li><li>RS232 x1 (オス (9ピン D-sub) タイプ)</li><li>DC ジャック x1</li></ul>
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	<ul style="list-style-type: none"><li>水平スキャン速度: 15 ~ 255 KHz</li><li>垂直スキャン速度: 24 ~ 240Hz (1080P の場合 240Hz)</li></ul>
スピーカー	15W x1
消費電力	<ul style="list-style-type: none"><li>高輝度モード:<ul style="list-style-type: none"><li>- 207 W 範囲 15% @110 VAC (標準)</li><li>- 203 W 範囲 15% @220 VAC (標準)</li></ul></li><li>エコモード:<ul style="list-style-type: none"><li>- 110 W 範囲 15% @110 VAC (標準)</li><li>- 108 W 範囲 15% @220 VAC (標準)</li></ul></li></ul>
入力電流	DC 19.5 V ~ 11.79 A
取り付け方向	フロント、リア、天井、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	<ul style="list-style-type: none"><li>219.5 x 274 x 108.5 mm (フットを除く)</li><li>219.5 x 274 x 114 mm (フットを含む)</li></ul>
重さ	3.5 kg ±0.3 kg
環境	0 ~ 40°C、10% ~ 80% 湿度 (結露なし) で動作

**注:** 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

# 追加情報

## Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

### 米国

Optoma Technology, Inc.  
47697 Westinghouse Drive.  
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786  
 510-996-4794  
 [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### カナダ

Optoma Technology, Inc.  
47697 Westinghouse Drive.  
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786  
 510-996-4794  
 [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### 中南米およびメキシコ

Optoma Technology, Inc.  
47697 Westinghouse Drive.  
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786  
 510-996-4794  
 [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### ヨーロッパ

1 Bourne End Mills  
Hemel Hempstead  
Hertfordshire  
HP1 2UJ  
英國  
com  
[www.optoma.eu](http://www.optoma.eu)  
サービスダイヤル: +44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800  
 +44 (0) 1923 691 888  
 [service@tsc-europe.com](mailto:service@tsc-europe.com)

### Benelux BV

Optoma Benelux BV  
Europalaan 770 D  
1363BM Almere  
The Netherlands  
[www.optoma.nl](http://www.optoma.nl)

 +31 (0) 36 8200 250  
 +31 (0) 36 548 9052

### フランス

Bâtiment E  
81-83 avenue Edouard Vaillant  
92100 Boulogne Billancourt, France  [savoptoma@optoma.fr](mailto:savoptoma@optoma.fr)

 +33 1 41 46 12 20  
 +33 1 41 46 94 35  
 [savoptoma@optoma.fr](mailto:savoptoma@optoma.fr)

### スペイン

C/ José Hierro, 36 Of.1C 28529 Rivas  +34 91 499 06 06  
VaciaMadrid, Spain  +34 91 670 08 32

 +34 91 499 06 06  
 +34 91 670 08 32

### ドイツ

Optoma Deutschland GmbH  
Am Nordpark 3  
41069 Mönchengladbach  
Deutschland

 +49 (0) 2161 68643 0  
 +49 (0) 2161 68643 99  
 [info@optoma.de](mailto:info@optoma.de)

### スカンディナビア

Postboks 9515 Åskollen  
Kniveveien 29  
Drammen  
3036  
Norway

 +47 32 98 89 90  
 +47 32 98 89 99  
 [info@optoma.no](mailto:info@optoma.no)

### 韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

### 日本

<https://www.optoma.com/jp/>

### 台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

### 中国

Room 2001, 20F, Building 4,  
No.1398 Kaixuan Road,  
Changning District  
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376  
 +86-21-62947375  
[www.optoma.com.cn](http://www.optoma.com.cn)

### オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

